○歯科補綴学１：624-3-DP1・DP3・DP4・DP5・DP6・DP7・DP8

年次	学期	学則科目責任者
3年次	通年	＊伊藤　誠康（有床義歯補綴学）

学修目標（ＧＩＯ）と単位数	・単位数：10単位 ・学修目標（ＧＩＯ）：咬合・咀嚼障害の病因および病態の適切な診断とそれに伴う機能・形態・心理社会的障害の回復を目的とした治療計画の立案および処置を行うために必要な補綴学に関する知識・技能および態度を修得する。
評価方法（ＥＶ）	評価方法（ＥＶ）平常試験（平常試験①～⑤：有床義歯３回、クラウンブリッジ2回の平均：50%），実習（補綴学導入・有床義歯補綴学・クラウン補綴学における実習評価，（実技試験およびグループワーク、ポートフォリオ等の評価を含む）：50%）を最終評価とする。ただし、講義・実習それぞれ１／５以上欠席した場合，評価点は６０点未満とする。また，講義・実習いずれかが合格点に達しない場合，評価点は６０点未満とする。なお，平常試験の再試験は行わない。 歯科医師の実務経験を活かし，歯科補綴学に関する治療手技、理論、その実際について説明する。 【歯科補綴学導入】平常試験（平常試験①～⑤：有床義歯３回、クラウンブリッジ2回の平均：50%），実習（補綴学導入・有床義歯補綴学・クラウン補綴学における実習評価，（実技試験およびグループワーク、ポートフォリオ等の評価を含む）：50%）を最終評価とする。ただし、講義・実習それぞれ１／５以上欠席した場合，評価点は６０点未満とする。また，講義・実習いずれかが合格点に達しない場合，評価点は６０点未満とする。なお，平常試験の再試験は行わない。 【有床義歯補綴学】平常試験（平常試験①～⑤：有床義歯３回、クラウンブリッジ2回の平均：50%），実習（補綴学導入・有床義歯補綴学・クラウン補綴学における実習評価，（実技試験およびグループワーク、ポートフォリオ等の評価を含む）：50%）を最終評価とする。ただし、講義・実習それぞれ１／５以上欠席した場合，評価点は６０点未満とする。また，講義・実習いずれかが合格点に達しない場合，評価点は６０点未満とする。なお，平常試験の再試験は行わない。 【クラウンブリッジ補綴学】平常試験（平常試験①～⑤：有床義歯３回、クラウンブリッジ2回の平均：50%），実習（補綴学導入・有床義歯補綴学・クラウン補綴学における実習評価，（実技試験およびグループワーク、ポートフォリオ等の評価を含む）：50%）を最終評価とする。ただし、講義・実習それぞれ１／５以上欠席した場合，評価点は６０点未満とする。また，講義・実習いずれかが合格点に達しない場合，評価点は６０点未満とする。なお，平常試験の再試験は行わない。

歯科補綴学導入

年次	学期	学修ユニット責任者
3年次	通年	＊伊藤　誠康（有床義歯補綴学）

学修ユニット学修目標（ＧＩＯ）	咬合・咀嚼障害の病因および病態の適切な診断とそれに伴う機能・形態・心理社会的障害の回復を目的とした治療計画の立案および処置を行うために必要な補綴学に関する基本的な知識・技能および態度を修得する。
担当教員	＊伊藤　誠康、＊石井　智浩、＊五十嵐　憲太郎、＊大久保　昌和、＊鈴木　亜沙子、＊中田　浩史、＊井上　正安、＊小川　晃奈、＊小出　恭代、＊木村　純、＊古賀　麻奈花、櫻井　萌絵、＊佐藤　佳奈美、髙野　光司、藤井　あゆ、山崎　亜莉沙、連記　真、＊北村　彩、古谷　佳輝
教科書	無歯顎補綴治療学　第4版　市川哲雄・大川周治・大久保力廣・水口俊介編　医歯薬出版 歯学生のパーシャルデンチャー 第7版　志賀博・横山敦郎・前川賢治　編　医歯薬出版 クラウンブリッジ補綴学　第6版　矢谷博文・三浦宏之・細川隆司・小川匠・木本克彦・松香芳三　編　医歯薬出版 有床義歯補綴学ポートフォリオ令和7年度版　日本大学松戸歯学部有床義歯補綴学講座　日本大学松戸歯学部有床義歯補綴学講座
参考図書	口腔顔面痛の診断と治療ガイドブック 第2版　日本口腔顔面痛学会編　医歯薬出版 TMDを知る　改訂第2版　井川雅子 大久保昌和 ほか　クインテッセンス出版 新編　顎関節症　覚道健治ほか　永末書店
評価方法（ＥＶ）	【歯科補綴学導入】平常試験（平常試験①～⑤：有床義歯３回、クラウンブリッジ2回の平均：50%），実習（補綴学導入・有床義歯補綴学・クラウン補綴学における実習評価，（実技試験およびグループワーク、ポートフォリオ等の評価を含む）：50%）を最終評価とする。ただし、講義・実習それぞれ１／５以上欠席した場合，評価点は６０点未満とする。また，講義・実習いずれかが合格点に達しない場合，評価点は６０点未満とする。なお，平常試験の再試験は行わない。
学生へのメッセージオフィスアワー	特にオフィスアワーを設けていませんが、質問は気軽にしてください。歯科医師としての実務経験を活かし，歯科補綴学に関する知識・技能・態度ついて教授します。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/04/08（火） 1時限 09:00～10:30	歯科補綴学１ガイダンス 【導入1】歯の欠	【授業の一般目標】 有床義歯補綴の治療を円滑に行うために必要な全部および部分無歯顎者の障害、病因・病態および加齢変化について理解する。	＊伊藤　誠康

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	損による障害・病因と病態、症候	【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき以下の項目を教授する。 2.歯科補綴学、補綴歯科治療の定義を説明できる 3.補綴歯科治療と健康科学との関係を説明できる。 4.歯列部分欠損および無歯顎の病態について説明できる。 5. 歯列部分欠損および無歯顎による障害の種類を説明できる。 6. 歯列部分欠損および無歯顎者の主要症候を説明できる。 7.歯の欠損による顎堤の生理的な吸収を説明できる。 8.歯質・歯・顎顔面欠損の病態を説明できる。 9.歯質・歯・顎顔面欠損による障害の種類を説明できる。 10.咬合・咀嚼障害、構音障害、審美障害、心理社会的障害の病態を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：無歯顎補綴治療学：１章-I,II,Ⅳ（P1-46,54-56）、歯学生のパーシャルデンチャー：６章（P45-58） ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ３０１教室：講義 あり：ピアインストラクション 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ　病因、病態 ２　口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 イ　歯の喪失に伴う変化・障害 ａ　口腔・顎顔面領域の変化・障害 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 １　病態 ア　咬合・咀嚼障害 イ　摂食嚥下障害 ウ　発話障害〈発話機能障害〉 エ　審美障害 オ　心理社会的障害 カ　口腔機能障害・口腔顔面痛 歯科医学総論 総論Ⅲ　病因、病態 ２　口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 イ　歯の喪失に伴う変化・障害 ｂ　全身への影響 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ①歯の欠損、顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。 Ｅ-２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ-２-３）　口腔・顎顔面領域の発生と加齢変化 ④口腔・顎顔面領域の老化と歯の喪失に伴う変化を説明できる。	＊伊藤　誠康
2025/04/08（火） 2時限 10:40～12:10	【導入2】 歯の欠損による障害の病態と診断	【授業の一般目標】 障害・病因・病態・治療に対する治療法の計画を立案できるために必要な知識・技能及び態度を修得する 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき以下の項目を教授する。 2.歯の欠損による顎堤の生理的な吸収を説明できる。 3.歯質・歯・顎顔面欠損に伴う咬合咀嚼障害の病態を説明できる。 4.歯質・歯・顎顔面欠損に伴う構音発音障害の病態を説明できる。 5.歯質・歯・顎顔面欠損に伴う審美障害を説明できる。 6.歯質・歯・顎顔面欠損に伴う心理社会的障害を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯学生のパーシャルデンチャー　6章（P45-58）、10章（P77-82） ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ３０１教室：講義 あり：ピアインストラクション 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 １　病態 ア　咬合・咀嚼障害	＊大久保　昌和

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/04/08（火） 2時限 10:40～12:10	【導入2】 歯の欠損による障害の病態と診断	【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 １　病態 イ　摂食嚥下障害 ウ　発話障害〈発話機能障害〉 エ　審美障害 オ　心理社会的障害 カ　口腔機能障害・口腔顔面痛 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ①歯の欠損、顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。 ②可撤性義歯の種類、目的及び意義を説明できる。	＊大久保　昌和
2025/04/08（火） 3時限 13:10～14:40	【導入3】 有床義歯の目的と意義・様々な義歯による治療法	【授業の一般目標】 障害・病因・病態・治療に対する治療法の計画を立案できるために必要な知識・技能及び態度を修得する 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき以下の項目を教授する。 2.可撤性義歯の目的と意義および具備条件を説明できる。 3.特殊な補綴装置による治療法を列挙できる。 4.複製義歯の要件を説明できる。 5.金属床義歯の利点を説明できる。 6.即時義歯の手順を説明できる。 7.顎顔面補綴装置の治療ゴールを述べることができる。 8.インプラント義歯の利点を述べることができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：無歯顎補綴治療学13章-18章（P263-302）、歯学生のパーシャルデンチャー29章（274-283） ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり ピア・インストラクション 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ２　歯・歯周組織・咬合の治療 ア　基本的術式 ｄ　歯の欠如・欠損の治療 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ア　義歯の設計 ａ　設計の原則 ｂ　義歯の構成要素 ５　全部床義歯による治療 ア　義歯の設計 ａ　設計の原則 ｂ　義歯の構成要素 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ②可撤性義歯の種類、目的及び意義を説明できる。	＊伊藤　誠康
2025/04/15（火） 2時限 10:40～12:10	【導入4】 有床義歯補綴治療の診察・評価・治療効果	【授業の一般目標】 有床義歯補綴治療を円滑に進めるための診察・評価・治療効果に関する知識および態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき以下の項目を教授する。 2.有床義歯補綴治療の診察・検査項目を列挙できる。 3.有床義歯補綴治療における診断について説明できる。 4.有床義歯補綴治療の治療の効果について説明できる。 5.有床義歯による補綴治療効果の評価方法について説明できる。 6.口腔関連QOLの評価を行うことができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目： 歯学生のパーシャルデンチャー：P128-139 無歯顎補綴治療学：P57-85 日本補綴歯科学会「歯の欠損の補綴歯科診療ガイドライン 2008」を通読する。 ・準備学修時間60分	＊鈴木　亜沙子 ＊五十嵐　憲太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/04/15（火） 2時限 10:40～12:10	【導入4】 有床義歯補綴治療の診察・評価・治療効果	【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ３０１教室：演習 有：体験学修 【学修方略（ＬＳ）】 演習 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ２　診察、検査、診断 イ　検査と評価 ａ　形態的・審美的評価 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ２　診察、検査、診断 イ　検査と評価 ｂ　機能的評価 ｃ　力学的評価 ｄ　身体社会的・心理的評価 ｅ　栄養評価 ｆ　補綴装置の評価 ｇ　研究用模型による検査 ｈ　口腔衛生状態の評価 ｉ　その他 ウ　診断 エ　治療計画の立案 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ②可撤性義歯の種類、目的及び意義を説明できる。 ③可撤性義歯の特徴と適応症を説明できる。	＊鈴木　亜沙子 ＊五十嵐　憲太郎
2025/04/15（火） 3時限 13:10～14:40	【導入5】障害・病因・病態・治療に関するグループワーク	【授業の一般目標】 障害・病因・病態・治療に対する治療法の計画を立案できるために必要な知識・技能及び態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.歯質・歯・顎顔面欠損に伴う咬合咀嚼障害の病態を説明できる。 3. 歯質・歯・顎顔面欠損に伴う構音発音障害の病態を説明できる。 4.歯質・歯・顎顔面欠損に伴う審美障害を説明できる。 5.歯質・歯・顎顔面欠損に伴う心理社会的障害を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 クラウンブリッジ補綴学P22-31、歯学生のパーシャルデンチャーP121-136、無歯顎補綴治療学P56-83 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第2実習室によるSmall Group Discussion 有　グループワーク 【学修方略（ＬＳ）】 演習 【場所（教室/実習室）】 第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 １　病態 ア　咬合・咀嚼障害 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 １　病態 イ　摂食嚥下障害 ウ　発話障害〈発話機能障害〉 エ　審美障害 オ　心理社会的障害 カ　口腔機能障害・口腔顔面痛 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ①歯の欠損、顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。 ②可撤性義歯の種類、目的及び意義を説明できる。 Ａ　歯科医師として求められる基本的な資質・能力 Ａ-９　生涯にわたって共に学ぶ姿勢 Ａ-９-１）　生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/04/15（火） 4時限 14:50～16:20	【導入5】障害・病因・病態・治療に関するグループワーク	【授業の一般目標】 障害・病因・病態・治療に対する治療法の計画を立案できるために必要な知識・技能及び態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.歯質・歯・顎顔面欠損に伴う咬合咀嚼障害の病態を説明できる。 3. 歯質・歯・顎顔面欠損に伴う構音発音障害の病態を説明できる。 4.歯質・歯・顎顔面欠損に伴う審美障害を説明できる。 5.歯質・歯・顎顔面欠損に伴う心理社会的障害を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 クラウンブリッジ補綴学P22-31、歯学生のパーシャルデンチャーP121-136、無歯顎補綴治療学P56-83 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第2実習室によるSmall Group Discussion 有　グループワーク 【学修方略（ＬＳ）】 演習 【場所（教室/実習室）】 第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 １　病態 ア　咬合・咀嚼障害 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 １　病態 イ　摂食嚥下障害 ウ　発話障害〈発話機能障害〉 エ　審美障害 オ　心理社会的障害 カ　口腔機能障害・口腔顔面痛 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ①歯の欠損、顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。 ②可撤性義歯の種類、目的及び意義を説明できる。 Ａ　歯科医師として求められる基本的な資質・能力 Ａ-９　生涯にわたって共に学ぶ姿勢 Ａ-９-１）　生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真
2025/04/22（火） 2時限 10:40～12:10	【導入6】 補綴歯科治療に関わる顎口腔系の障害と口腔顔面痛	【授業の一般目標】 補綴歯科治療に関わる顎口腔系の障害と口腔顔面痛の診断を行えるようになるために口腔外診察を体験し知識と技能を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき以下の項目を教授する。 2.歯の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。 3.口腔・顔面痛について概説できる。 4.主要な身体診察を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：口腔顔面痛の診断と治療ガイドブック ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ３０１教室：講義 実際に相互の診察を行います。あらじかじめ、クイズに回答して実習に望むこと（反転授業） 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 １　病態 カ　口腔機能障害・口腔顔面痛 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ-２-４）　口腔・顎顔面領域の疾患 Ｅ-２-４）-（９）　神経疾患 ①口腔顔面痛を説明できる。	＊大久保　昌和 ＊小出　恭代
2025/04/22（火） 3時限	【導入実-1】口腔外診察	【授業の一般目標】 補綴歯科治療に関わる顎口腔系の障害と口腔顔面痛の診断を行えるようになる	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
13:10～14:40	【導入実-1】口腔外診察	ために口腔外診察を体験し知識と技能を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。 3.咬合異常と咀嚼障害の原因と診察、検査、診断および治療方針を説明できる。 4.頭頸部の診察ができる 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：クラウンブリッジ補綴学１章（P19-42）、９章（P345-350）、歯学生のパーシャルデンチャー１５章（P128-142）、無歯顎補綴治療学２章（P57-77）、口腔顔面痛の診断と治療ガイドブック第2版 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有　実習 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 １　病態 カ　口腔機能障害・口腔顔面痛 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ２　診察、検査、診断 ア　診察 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ-２-４）　口腔・顎顔面領域の疾患 Ｅ-２-４）-（９）　神経疾患 ①口腔顔面痛を説明できる。	＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真 小林　久純
2025/04/22（火） 4時限 14:50～16:20	【導入実-1】口腔外診察	【授業の一般目標】 補綴歯科治療に関わる顎口腔系の障害と口腔顔面痛の診断を行えるようになるために口腔外診察を体験し知識と技能を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。 3.咬合異常と咀嚼障害の原因と診察、検査、診断および治療方針を説明できる。 4.頭頸部の診察ができる 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：クラウンブリッジ補綴学１章（P19-42）、９章（P345-350）、歯学生のパーシャルデンチャー１５章（P128-142）、無歯顎補綴治療学２章（P57-77）、口腔顔面痛の診断と治療ガイドブック第2版 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有　実習 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 １　病態 カ　口腔機能障害・口腔顔面痛 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ２　診察、検査、診断 ア　診察 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ-２-４）　口腔・顎顔面領域の疾患 Ｅ-２-４）-（９）　神経疾患 ①口腔顔面痛を説明できる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真 小林　久純
2025/05/08（木） 1時限 09:00～10:30	【平常試験①（有床）】（9:00-9:50）	【授業の一般目標】 患者の治療を自立して行うために必要な補綴学の基本的な知識、技能および態度を修得する 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.補綴歯科治療に関わる顎口腔系の障害と口腔顔面痛について説明できる	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊小出　恭代

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/08（木） 1時限 09:00～10:30	【平常試験①（有床）】（9:00-9:50）	2. 有床義歯にかかわる障害の種類を列挙できる 3. 有床義歯にかかわる障害の病因を列挙できる 4. 有床義歯にかかわる障害の病態を列挙できる 5. 様々な義歯による治療法を列挙できる 6. 有床義歯の構成要素を説明できる 7. 有床義歯の維持・支持・把持安定について説明できる 8. 医療面接と診察、評価と診断を行うことができる 9. 口腔外診察の項目を列挙できる 10. 口腔内診察の項目を列挙できる 【準備学修項目と準備学修時間】 範囲：導入１～６、PD１～３ 準備学修項目：上記内容の復習 準備学修時間：講義相当数時分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし：試験 平常試験：２０１教室 記述式による試験 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 １　病態 ア　咬合・咀嚼障害 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ２　診察、検査、診断 ア　診察 ウ　診断 エ　治療計画の立案 ４　部分床義歯による治療 ア　義歯の設計 ａ　設計の原則 ｂ　義歯の構成要素 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ①歯の欠損、顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。 ②可撤性義歯の種類、目的及び意義を説明できる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊小出　恭代
2025/05/08（木） 2時限 10:40～12:10	１）平常試験①の振り返り ２）グループ発表の準備	【授業の一般目標】 平常試験①の振り返りおよびグループ発表の準備を行うことにより、これまでに学修した内容の統合を行うために必要な知識・技術・態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 補綴歯科治療に関わる顎口腔系の障害と口腔顔面痛について説明できる 2. 有床義歯にかかわる障害の種類を列挙できる 3. 有床義歯にかかわる障害の病因・病態を列挙できる 4. 様々な義歯による治療法を列挙できる 5. 有床義歯の構成要素を説明できる 6. 有床義歯の維持・支持・把持安定について説明できる 7. 医療面接と診察、評価と診断を行うことができる 8. 口腔外診察の項目を列挙できる 9. 口腔内診察の項目を列挙できる 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目　１）特になし　２）グループワーク発表の準備 ・準備学修時間　１）なし　２）180分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 10:40～11:30（時間前後する場合あり）：解説講義・振り返り：２０１教室 11:30～：発表の準備 あり：グループワーク 【学修方略（ＬＳ）】 演習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 １　病態 ア　咬合・咀嚼障害 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯）	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊小出　恭代

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/08（木） 2時限 10:40～12:10	１）平常試験①の振り返り ２）グループ発表の準備	①歯の欠損、顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。 ②可撤性義歯の種類、目的及び意義を説明できる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊小出　恭代
2025/05/08（木） 3時限 13:10～14:40	【導入実-2】口腔内診察・補綴歯科治療に関する機能評価	【授業の一般目標】 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療を行えるようになるために口腔内診察および補綴歯科治療に関する機能評価を体験し知識と技能を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.口腔内診察を行うことができる。 3.咬合診査を行うことができる。 4.補綴歯科治療に関連する口腔機能の評価を行うことができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：クラウンブリッジ補綴学（P43-56）、歯学生のパーシャルデンチャー（P121-142）、無歯顎補綴治療学（P57-77） ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり：実習 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ２　診察、検査、診断 イ　検査と評価 ｂ　機能的評価 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ２　診察、検査、診断 イ　検査と評価 ａ　形態的・審美的評価 ｄ　身体社会的・心理的評価 ｅ　栄養評価 ｈ　口腔衛生状態の評価 ｉ　その他 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－１　診療の基本 Ｅ－１－１）　診察の基本 ①診察、検査及び診断に必要な事項を列挙できる。 ②診察、検査及び診断に必要な器材を説明できる。 Ｅ－５　高齢者、障害者、精神・心身医学的疾患 Ｅ－５－１）　高齢者の歯科治療 ③口腔機能低下の検査と予防法（介護予防を含む）を説明できる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真 北村　学 倉田　豊 髙橋　卓裕
2025/05/08（木） 4時限 14:50～16:20	【導入実-2】口腔内診察・補綴歯科治療に関する機能評価	【授業の一般目標】 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療を行えるようになるために口腔内診察および補綴歯科治療に関する機能評価を体験し知識と技能を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.口腔内診察を行うことができる。 3.咬合診査を行うことができる。 4.補綴歯科治療に関連する口腔機能の評価を行うことができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：クラウンブリッジ補綴学（P43-56）、歯学生のパーシャルデンチャー（P121-142）、無歯顎補綴治療学（P57-77） ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり：実習 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ２　診察、検査、診断 イ　検査と評価 ｂ　機能的評価 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ２　診察、検査、診断 イ　検査と評価	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真 北村　学 倉田　豊 髙橋　卓裕

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/08（木） 4時限 14:50～16:20	【導入実-2】口腔内診察・補綴歯科治療に関する機能評価	a　形態的・審美的評価 d　身体社会的・心理的評価 e　栄養評価 h　口腔衛生状態の評価 i　その他 【コアカリキュラム】 E　臨床歯学 E－1　診療の基本 E－1－1）　診察の基本 ①診察、検査及び診断に必要な事項を列挙できる。 ②診察、検査及び診断に必要な器材を説明できる。 E－5　高齢者、障害者、精神・心身医学的疾患 E－5－1）　高齢者の歯科治療 ③口腔機能低下の検査と予防法（介護予防を含む）を説明できる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真 北村　学 倉田　豊 髙橋　卓裕
2025/05/13（火） 1時限 09:00～10:30	【導入7】　障害・病因・病態・治療に関するグループ発表	【授業の一般目標】 部分歯列欠損および無歯顎患者の障害・病因・病態・治療に対する治療法の計画を立案できるために必要な知識・技能及び態度を修得する 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.歯質・歯・顎顔面欠損に伴う咬合咀嚼障害の病態を説明できる。 3.歯質・歯・顎顔面欠損に伴う構音発音障害の病態を説明できる。 4.歯質・歯・顎顔面欠損に伴う審美障害を説明できる。 5.歯質・歯・顎顔面欠損に伴う心理社会的障害を説明できる。 6.歯質・歯・顎顔面欠損に関する診察と検査法を説明できる。 7.歯質・歯・顎顔面欠損の検査結果の評価に基づき診断と治療計画の立案ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：エキスパートグループでまとめた知識の整理と発表の準備 ・準備学修時間：１８０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり：グループワーク 【学修方略（ＬＳ）】 演習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 １　病態 ア　咬合・咀嚼障害 【コアカリキュラム】 E　臨床歯学 E－3　歯と歯周組織の常態と疾患 E－3－4）　歯質と歯の欠損の診断と治療 E－3－4）－（2）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ①歯の欠損、顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。 ②可撤性義歯の種類、目的及び意義を説明できる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真
2025/05/13（火） 2時限 10:40～12:10	【導入7】　障害・病因・病態・治療に関するグループ発表	【授業の一般目標】 部分歯列欠損および無歯顎患者の障害・病因・病態・治療に対する治療法の計画を立案できるために必要な知識・技能及び態度を修得する 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.歯質・歯・顎顔面欠損に伴う咬合咀嚼障害の病態を説明できる。 3.歯質・歯・顎顔面欠損に伴う構音発音障害の病態を説明できる。 4.歯質・歯・顎顔面欠損に伴う審美障害を説明できる。 5.歯質・歯・顎顔面欠損に伴う心理社会的障害を説明できる。 6.歯質・歯・顎顔面欠損に関する診察と検査法を説明できる。 7.歯質・歯・顎顔面欠損の検査結果の評価に基づき診断と治療計画の立案ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：エキスパートグループでまとめた知識の整理と発表の準備 ・準備学修時間：１８０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり：グループワーク 【学修方略（ＬＳ）】 演習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/13（火） 2時限 10:40～12:10	【導入7】 障害・病因・病態・治療に関するグループ発表	1　病態 ア　咬合・咀嚼障害 【コアカリキュラム】 E　臨床歯学 E-3　歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4）　歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4）-（2）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ①歯の欠損、顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。 ②可撤性義歯の種類、目的及び意義を説明できる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真

有床義歯補綴学

年次	学期	学修ユニット責任者
3年次	通年	＊伊藤　誠康（有床義歯補綴学）

学修ユニット学修目標（ＧＩＯ）	咬合・咀嚼障害の病因および病態の適切な診断とそれに伴う機能・形態・心理社会的障害の回復を目的とした治療計画の立案および処置を行うために必要な補綴学に関する基本的な知識・技能および態度を修得する。
担当教員	＊伊藤　誠康、＊石井　智浩、＊五十嵐　憲太郎、＊大久保　昌和、＊鈴木　亜沙子、＊中田　浩史、＊井上　正安、＊小川　晃奈、＊小出　恭代、＊木村　純、＊古賀　麻奈花、櫻井　萌絵、＊佐藤　佳奈美、髙野　光司、藤井　あゆ、古谷　佳輝、山崎　亜莉沙、連記　真、＊河相　安彦、枝広　あや子、＊北村　彩、＊小川　貴大、※梅木　賢人、※小倉　京子、＊神谷　和伸、※川原　綾夏、※岸　髙生、※木村　全孝、※小林　久純、※諏訪　武利、※宗　邦雄、※園部　菜那、※髙井　周太郎、※田沼　達也、※鶴見　毅、※内藤　元、＊中島　義雄、＊古瀬　信彦、※町田　健、※松丸　悠一、※真辺　剛史、＊渡邊　丈紘、飯塚　晃司、砂治　大介、風呂川　聡、目黒　郁美、※大河原　純也、※河合　竜志、＊飯島　守雄、※今道　靖子、※宇土　愛子、※篠宮　摩弥子、※佐伯　啓行、＊佐藤　博紀、※北村　学、※水戸部　京子、※小野　仁徳、鎌田　征之、倉田　豊、※桑島　梓、髙橋　卓裕
教科書	無歯顎補綴治療学　第4版　市川哲雄・大川周治・大久保力廣・水口俊介編　医歯薬出版 歯学生のパーシャルデンチャー 第7版　志賀博・横山敦郎・前川賢治　編　医歯薬出版 クラウンブリッジ補綴学　第6版　矢谷博文・三浦宏之・細川隆司・小川匠・木本克彦・松香芳三　編　医歯薬出版 有床義歯補綴学ポートフォリオ令和7年度版　日本大学松戸歯学部有床義歯補綴学講座　日本大学松戸歯学部有床義歯補綴学講座 有床義歯補綴学　実習書　日本大学松戸歯学部有床義歯補綴学講座　日本大学松戸歯学部有床義歯補綴学講座
評価方法（ＥＶ）	平常試験（平常試験①～⑤：有床義歯３回、クラウンブリッジ2回の平均：50%），実習（補綴学導入・有床義歯補綴学・クラウン補綴学における実習評価，（実技試験およびグループワーク、ポートフォリオ等の評価を含む）：50%）を最終評価とする。ただし、講義・実習それぞれ１／５以上欠席した場合，評価点は６０点未満とする。また，講義・実習いずれかが合格点に達しない場合，評価点は６０点未満とする。なお，平常試験の再試験は行わない。
学生へのメッセージ オフィスアワー	有床義歯補綴は壮年者から高齢者の生活の質(QOL)向上に重要な役割を果たしていることが明らかになっています。 今回の学修により多くの症例に対応できる基本を修得することを期待します。 講義・実習ともに学修支援システム・Web classおよびYouTubeによる動画教材を用いた予習・復習を必ず行ってください。また解剖学、生理学および歯科理工学の知識を整理しておくと理解が深まります。今回の学修とその後の生涯にわたる研修を通じて、様々な症例に対応できるよう、学修に際して常に実際の患者を意識して行ってください。歯科医師の実務経験を活かし、歯の欠損や加齢による口腔機能の低下に対して補綴歯科治療がどのように役立つかをわかりやすく解説します。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/04/08（火） 4時限 14:50～16:20	【PD-1】局部床義歯の目的と意義，構成要素，適応症および種類	【授業の一般目標】 部分歯列欠損患者に対して適切な補綴歯科治療を行えるようになるために、歯列部分欠損の特性を理解し、喪失した機能および形態を回復するために必要な知識・技能・態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.歯列部分欠損の病態を説明できる。 3.部分歯列欠損の機能障害、形態変化を説明できる。 4.歯列部分欠損を有する患者の機能回復の方法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯学生のパーシャルデンチャー3章（P13-19）、4章（P20-25）、8章（P66-69） ・準備学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：ピアインストラクション 講義、臨床写真 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ア　義歯の設計 ｂ　義歯の構成要素 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ２　歯・歯周組織・咬合の治療 ア　基本的術式 ｄ　歯の欠如・欠損の治療	＊石井　智浩

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/04/08（火） 4時限 14:50～16:20	【PD-1】局部床義歯の目的と意義，構成要素，適応症および種類	【コアカリキュラム】 E　臨床歯学 E-3　歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4）　歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4）-（2）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ②可撤性義歯の種類、目的及び意義を説明できる。	＊石井　智浩
2025/04/15（火） 1時限 09:00～10:30	【PD-2】 局部床義歯の診査・治療計画・概形印象と研究模型・サベイング	【授業の一般目標】 局部床義歯治療のために行う検査と診査・診断に基づく治療計画の立案方法について理解する。局部床義歯の設計に必要なサベイングについて理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき以下の項目を教授する。 2.可撤性部分床義歯治療のために行う検査を列挙できる。 3.サベイングの目的を説明できる。 4.サベイングの手順を説明できる。 5.欠損歯列の診査・診断について説明できる。 6.可撤性部分床義歯の設計の原則を理解する。 7.仮設計の目的について説明できる。 8.必要な前処置について説明できる。 9.可撤性部分床義歯の治療計画について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯学生のパーシャルデンチャー15章（P128-142）、16章（P143-150） ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり:ピアインストラクション 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ２　診察、検査、診断 ア　診察 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ２　診察、検査、診断 ウ　診断 エ　治療計画の立案 ４　部分床義歯による治療 ア　義歯の設計 ａ　設計の原則 ｂ　印象採得 ｃ　サベイング、設計線の記入 【コアカリキュラム】 E　臨床歯学 E-3　歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4）　歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4）-（2）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。 ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。	＊石井　智浩
2025/04/22（火） 1時限 09:00～10:30	【PD-3】　局部床義歯の設計の原則、支持・把持・維持	【授業の一般目標】 歯列の部分欠損を補う義歯の設計に関わる知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.可徹性部分床義歯の支持、把持、維持機能について説明できる。 3.可徹性部分床義歯の設計の原則を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯学生のパーシャルデンチャー11章（P83-86）、12章（P87-105） ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：ピアインストラクション 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ア　義歯の設計 ａ　設計の原則 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論	＊五十嵐　憲太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/04/22（火） 1時限 09:00～10:30	【PD-3】　局部床義歯の設計の原則、支持・把持・維持	各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ア　義歯の設計 ｂ　義歯の構成要素 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。 ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。	＊五十嵐　憲太郎
2025/05/13（火） 3時限 13:10～14:40	【PD実-1】　概形印象採得と研究用模型の製作（A班：第2実習室） B班【PD実-2】サベイング・仮設計（5月20日　3時限目を参照）	【授業の一般目標】 局部床義歯の検査を行うために必要な研究用模型を適切に製作できる概形印象採得法を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.概形印象のトレーの選択を行うことができる。 3.既製トレーの改変を行うことができる。 4.印象操作を行うことができる。 5.採得された印象を評価できる。 6.石膏注入を行うことができる。 7.研究用模型を製作できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：概形印象採得・研究用模型の製作に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：反転授業・実習 実習書、Youtubeによる予習項目（概形印象採得、研究用模型の製作） 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 イ　臨床操作 ｂ　印象採得 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ２　診察、検査、診断 イ　検査と評価 ｇ　研究用模型による検査 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真 ＊北村　彩
2025/05/13（火） 4時限 14:50～16:20	【PD実-1】　概形印象採得と研究用模型の製作（A班：第2実習室） B班　演習：サベイング（5月20日　4時限目を参照）	【授業の一般目標】 局部床義歯の検査を行うために必要な研究用模型を適切に製作できる概形印象採得法を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.概形印象のトレーの選択を行うことができる。 3.既製トレーの改変を行うことができる。 4.印象操作を行うことができる。 5.採得された印象を評価できる。 6.石膏注入を行うことができる。 7.研究用模型を製作できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：概形印象採得・研究用模型の製作に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：反転授業・実習 実習書、Youtubeによる予習項目（概形印象採得、研究用模型の製作） 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真 ＊北村　彩

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/13（火） 4時限 14:50～16:20	【PD実-1】 概形印象採得と研究用模型の製作（A班：第2実習室） B班　演習：サベイング（5月20日　4時限目を参照）	４　部分床義歯による治療 イ　臨床操作 ｂ　印象採得 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ２　診察、検査、診断 イ　検査と評価 ｇ　研究用模型による検査 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真 ＊北村　彩
2025/05/20（火） 1時限 09:00～10:30	【PD-4】 支台装置（クラスプとアタッチメント）	【授業の一般目標】 局部床義歯治療を実践できるようになるため、支台（維持）装置の機能と設計について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.支台装置の役割を説明できる。 3.直接支台装置と間接支台装置について説明できる。 4.局部床義歯のクラスプについて説明できる。 5.局部床義歯のアタッチメントについて説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯学生のパーシャルデンチャー：9章（P70-72）、12章（P89-105）、21章（P206-218） ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：ピアインストラクション 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ア　義歯の設計 ｂ　義歯の構成要素 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ア　義歯の設計 ａ　設計の原則 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。	＊五十嵐　憲太郎
2025/05/20（火） 2時限 10:40～12:10	【PD-5】連結装置・義歯床・間接支台装置と義歯の動き	【授業の一般目標】 局部床義歯治療を実践できるようになるため、義歯の動きに関わる連結装置・義歯床および間接支台（維持）装置について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.局部床義歯の支持機構、把持機構および維持機構を説明できる。 3.大連結子について説明できる。 4.小連結子について説明できる。 5.義歯床について説明できる。 6.義歯の設計による間接維持作用について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯学生のパーシャルデンチャー：9章（P73-75）、11章（P84-87），22章（P219-227） 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：ピアインストラクション 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】	＊五十嵐　憲太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/20（火） 2時限 10:40～12:10	【PD-5】連結装置・義歯床・間接支台装置と義歯の動き	歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ア　義歯の設計 ａ　設計の原則 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ア　義歯の設計 ｂ　義歯の構成要素 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。	＊五十嵐　憲太郎
2025/05/20（火） 3時限 13:10～14:40	【PD実-2】 サベイング・仮設計（A班：201教室） B班【PD実-1】 概形印象採得と研究用模型の製作（5月13日3・4時限目を参照）	【授業の一般目標】 部分歯列欠損の補綴治療に際して、研究用模型のサベイング、仮設計に関する知識、技能、態度を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.研究用模型の評価を行うことができる。 3.研究用模型のサベイングを行うことができる。 4.義歯の構成要素を説明できる。 5.義歯の設計線を記入することができる。 6.義歯の前処置を決定できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：研究用模型のサベイングおよび義歯の設計に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：反転授業・実習 実習書、Youtubeによる予習項目（研究用模型のサベイング、義歯の仮設計） 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ウ　技工操作 ｃ　サベイング、設計線の記入 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ア　義歯の設計 ａ　設計の原則 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真 川原　綾夏 ＊北村　彩 木村　全孝 田沼　達也 目黒　郁美
2025/05/20（火） 4時限 14:50～16:20	演習（サベイング）（A班：201教室） B班【PD実-1】 概形印象採得と研究用模型の製作（5月13日3・4時限目を参照）	【授業の一般目標】 部分歯列欠損の補綴治療に際して、研究用模型のサベイング、仮設計に関する知識、技能、態度を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.サベイングの手順を説明できる。 3.サベイングに用いる器具を列挙できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：講義および実習の関連項目の復習 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：演習（ワークブックによる課題） 【学修方略（ＬＳ）】 演習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真 川原　綾夏 ＊北村　彩 木村　全孝 田沼　達也 目黒　郁美

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/20（火） 4時限 14:50～16:20	演習（サベイング） （A班：201教室） B班【PD実-1】 概形印象採得と研究用模型の製作（5月13日3・4時限目を参照）	４　部分床義歯による治療 ウ　技工操作 ｃ　サベイング、設計線の記入 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ア　義歯の設計 ａ　設計の原則 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真 川原　綾夏 ＊北村　彩 木村　全孝 田沼　達也 目黒　郁美
2025/05/27（火） 1時限 09:00～10:30	【PD-6】有床義歯の口腔内前処置（広義・狭義）	【授業の一般目標】 部分歯列欠損および無歯顎患者に適切な補綴歯科治療を行えるようになるために、歯列の全部および部分欠損に対する口腔内前処置に関する知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき以下の項目を教授する。 2.口腔内前処置を定義できる 3.広義の口腔内前処置を列挙できる 4.狭義の口腔内前処置を列挙できる 5.局部床義歯に特異的な口腔内前処置を説明できる 6.総義歯に特異的な口腔内前処置を説明できる 7.有床義歯に関わる粘膜病変を説明できる 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：無歯顎補綴治療学：3章（P86～92）、歯学生のパーシャルデンチャー：17章（P151-163）」 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：ピアインストラクション 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 イ　臨床操作 ａ　前処置 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ２　診察、検査、診断 エ　治療計画の立案 ５　全部床義歯による治療 イ　臨床操作 ａ　前処置 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。	＊大久保　昌和
2025/05/27（火） 2時限 10:40～12:10	【PD-7】局部床義歯の精密印象・作業用模型の製作	【授業の一般目標】 部分歯列欠損患者に適切な補綴歯科治療を行えるようになるために、歯列の部分欠損に必要な精密印象法に関する理論、手技および使用材料、精密印象から製作する作業用模型に必要な要件を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.歯根膜負担、粘膜負担、歯根膜粘膜負担義歯について説明できる。 3.個人トレーを用いた機能印象を説明できる。 4.印象用材料について説明できる。 5.作業用模型の製作方法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：歯学生のパーシャルデンチャー13章（P106-109），18章（P164-173） 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 301教室：講義 有：ピアインストラクション	＊小出　恭代

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/27（火） 2時限 10:40～12:10	【PD-7】局部床義歯の精密印象・作業用模型の製作	【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 イ　臨床操作 ｂ　印象採得 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ウ　技工操作 ａ　個人トレーの製作、作業用模型の製作 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。	＊小出　恭代
2025/05/27（火） 3時限 13:10～14:40	【PD実-3】 個人トレーの製作	【授業の一般目標】 部分歯列欠損患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、局部床義歯の個人トレーの製作に関する知識、技能、態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.個人トレーの外形線を記入することができる。 3.個人トレーを製作することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：個人トレーの製作に関する講義内容、実習書および予習動画の確認 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目（個人トレーの製作） 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ウ　技工操作 ａ　個人トレーの製作、作業用模型の製作 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真 ＊小川　貴大 小林　久純
2025/05/27（火） 4時限 14:50～16:20	【PD実-3】 個人トレーの製作	【授業の一般目標】 部分歯列欠損患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、局部床義歯の個人トレーの製作に関する知識、技能、態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.個人トレーの外形線を記入することができる。 3.個人トレーを製作することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：個人トレーの製作に関する講義内容、実習書および予習動画の確認 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目（個人トレーの製作） 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真 ＊小川　貴大 小林　久純

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/27（火） 4時限 14:50～16:20	【PD実-3】 個人トレーの製作	各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ウ　技工操作 ａ　個人トレーの製作、作業用模型の製作 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真 ＊小川　貴大 小林　久純
2025/06/03（火） 1時限 09:00～10:30	補充演習・実習（サベイング・義歯の設計）	【授業の一般目標】 部分歯列欠損の補綴治療に際して、研究用模型のサベイング、仮設計に関する知識、技能、態度を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.義歯の設計原則を説明できる。 3.サベイングに基づく義歯の設計を実施できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：研究用模型のサベイングおよび義歯の設計に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：反転授業・実習 実習書、Youtubeによる予習項目（研究用模型のサベイング、義歯の仮設計） 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ア　義歯の設計 ａ　設計の原則 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真
2025/06/03（火） 2時限 10:40～12:10	補充講義・特別講義１（老年学の基礎知識）	【授業の一般目標】 歯列欠損患者および無歯顎患者に対する補綴歯科治療を実施できるようになるために、必要な関連する知識および態度を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.歯列欠損患者および無歯顎患者が有する背景を説明できる。 3.歯列欠損患者および無歯顎患者の治療方針について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：これまでに学修した内容の振り返り、予習項目のポートフォリオへの記載 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有 LS：講義資料、プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ２　歯・歯周組織・咬合の治療 ア　基本的術式 ｄ　歯の欠如・欠損の治療 【コアカリキュラム】	枝広　あや子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/06/03（火） 2時限 10:40～12:10	補充講義・特別講義１（老年学の基礎知識）	Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。 ①歯の欠損、顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。 Ｅ－５　高齢者、障害者、精神・心身医学的疾患 Ｅ－５－１）　高齢者の歯科治療 ①高齢者の生理的、心理的及び行動的特徴を説明できる。 ②高齢者に多く見られる疾患及び服用している薬物を説明できる。 ④高齢者における口腔健康管理の用具と処置を説明できる。 ⑤高齢者の歯科治療時の全身管理を説明できる。 ⑥要介護高齢者（在宅要介護者を含む）の歯科治療時の注意点を説明できる。	枝広　あや子
2025/06/03（火） 3時限 13:10～14:40	【PD実-4】支台歯に対する口腔内前処置	【授業の一般目標】 部分歯列欠損患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、支台歯に対する口腔内前処置を実施できる知識、技能、態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.支台歯に対する前処置について説明できる。 3.回転切削器具を適切に取り扱うことができる。 4.ガイドプレーンの形成ができる。 5.レストシートの形成ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：口腔内前処置に関する講義内容、実習書および予習動画の確認 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目（マウスプレパレーション） 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 イ　臨床操作 ａ　前処置 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真 ＊佐藤　博紀
2025/06/03（火） 4時限 14:50～16:20	【PD実-4】支台歯に対する口腔内前処置	【授業の一般目標】 部分歯列欠損患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、支台歯に対する口腔内前処置を実施できる知識、技能、態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.支台歯に対する前処置について説明できる。 3.回転切削器具を適切に取り扱うことができる。 4.ガイドプレーンの形成ができる。 5.レストシートの形成ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：口腔内前処置に関する講義内容、実習書および予習動画の確認 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目（マウスプレパレーション） 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 イ　臨床操作 ａ　前処置 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真 ＊佐藤　博紀

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/06/03（火） 4時限 14:50～16:20	【PD実-4】支台歯に対する口腔内前処置		＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真 ＊佐藤　博紀
2025/06/10（火） 1時限 09:00～10:30	【PD-8】 局部床義歯のフレームワークの製作，パターン採得および型ごと埋没	【授業の一般目標】 局部床義歯のフレームワークの製作，パターン採得および型ごと埋没を行うのに必要な補綴学の知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床実務経験に基づき以下の項目を教授する。 2. 局部床義歯のフレームワークを説明できる。 3. フレームワークの使用金属を説明できる。 4. フレームワークの製作順序を説明できる。 5. クラスプパターン採得を説明できる。 6. 耐火模型・型ごと埋没を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 歯学生のパーシャルデンチャー：13章（P106-115），23章（P228-234） 準備学修時間　30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：ピアインストラクション 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ウ　技工操作 ｄ　支台装置、連結子、フレームワークの製作 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅷ　歯科材料と歯科医療機器 ４　模型用材料、ワックス イ　歯科用ワックス ｂ　パラフィンワックス、シートワックス、レディキャスティングワックス、スティッキーワックス、ユーティリティーワックス ６　歯冠修復・義歯用材料 ウ　金属材料 ａ　金合金 ｂ　低融銀合金、金銀パラジウム合金 ｃ　陶材焼付用合金 ｄ　コバルトクロム合金 ｅ　チタン、チタン合金 ｆ　ステンレス鋼、歯科用磁性合金 ７　成形技術・機器 ウ　金属材料の成形技術・機器 ａ　鋳造工程 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。 ⑫可撤性義歯の製作過程を説明できる。	＊伊藤　誠康
2025/06/10（火） 2時限 10:40～12:10	【PD実-5】筋圧形成・精密印象・ボクシング・作業用模型の製作（A班：第2実習室） B班　義歯の設計に関する演習（6月17日2時限目を参照）	【授業の一般目標】 部分歯列欠損患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、局部床義歯の精密印象採得・作業用模型の製作を実施できる知識、技能、態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 下顎部分欠損の筋圧形成を行うことができる。 3. 下顎部分欠損の精密印象を採得できる。 4. 下顎部分欠損の作業用模型を調製できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：筋圧形成、精密印象、ボクシング作業用模型の製作に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/06/10（火） 2時限 10:40～12:10	【PD実-5】筋圧形成・精密印象・ボクシング・作業用模型の製作（A班：第2実習室） B班　義歯の設計に関する演習（6月17日2時限目を参照）	・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目（筋圧形成、精密印象、ボクシング、作業用模型の製作） 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 イ　臨床操作 ｂ　印象採得 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。	野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真
2025/06/10（火） 3時限 13:10～14:40	【PD実-5】筋圧形成・精密印象・ボクシング・作業用模型の製作（A班：第2実習室） B班　講義・実習の振り返り・ポートフォリオ記載（6月17日3・4時限目を参照）	【授業の一般目標】 部分歯列欠損患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、局部床義歯の精密印象採得・作業用模型の製作を実施できる知識、技能、態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.下顎部分欠損の筋圧形成を行うことができる。 3.下顎部分欠損の精密印象を採得できる。 4.下顎部分欠損の作業用模型を調製できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：筋圧形成、精密印象、ボクシング作業用模型の製作に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目（筋圧形成、精密印象、ボクシング、作業用模型の製作） 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 イ　臨床操作 ｂ　印象採得 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真 飯塚　晃司 宇土　愛子 ＊北村　彩 鶴見　毅
2025/06/10（火） 4時限 14:50～16:20	【PD実-5】筋圧形成・精密印象・ボクシング・作業用模型の製作（A班：第2実習室） B班　講義・実習の振り返り・ポートフォリオ記載（6月17日3・4時限目を参照）	【授業の一般目標】 部分歯列欠損患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、局部床義歯の精密印象採得・作業用模型の製作を実施できる知識、技能、態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.下顎部分欠損の筋圧形成を行うことができる。 3.下顎部分欠損の精密印象を採得できる。 4.下顎部分欠損の作業用模型を調製できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：筋圧形成、精密印象、ボクシング作業用模型の製作に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目（筋圧形成、精密印象、ボクシング、作業用模型の製作）	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真 飯塚　晃司 宇土　愛子 ＊北村　彩

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/06/10（火） 4時限 14:50～16:20	【PD実-5】筋圧形成・精密印象・ボクシング・作業用模型の製作（A班：第2実習室） B班　講義・実習の振り返り・ポートフォリオ記載（6月17日3・4時限目を参照）	【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 イ　臨床操作 ｂ　印象採得 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。	鶴見　毅
2025/06/17（火） 1時限 09:00～10:30	【CD-1】総義歯の目的と意義、維持・支持・安定、適応症・種類と前処置	【授業の一般目標】 無歯顎者に適切な補綴装置を用いた治療を行うために必要な知識、技能及び態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床実務経験に基づき以下の項目を教授する。 2. 全部床義歯の構成要素を列挙できる。 3. 全部床義歯の維持・支持・安定に関わる構成要素を説明できる。 4. 全部床義歯の維持の発現機構を説明できる。 5. 全部床義歯の支持の発現機構を説明できる。 6. 全部床義歯の安定の発現機構を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：無歯顎補綴治療学（P47-53、86-92） ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり：ピア・インストラクション 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 ア　義歯の設計 ａ　設計の原則 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 ア　義歯の設計 ｂ　義歯の構成要素 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ①歯の欠損、顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。 ②可撤性義歯の種類、目的及び意義を説明できる。 ③可撤性義歯の特徴と適応症を説明できる。 ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。	＊河相　安彦
2025/06/17（火） 2時限 10:40～12:10	義歯の設計に関する演習（A班：201教室） B班【PD実-5】筋圧形成・精密印象・ボクシング・作業用模型の製作（6月10日2・3・4時限目を参照）	【授業の一般目標】 部分歯列欠損患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、局部床義歯の設計に必要な知識、技能、態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 局部床義歯の設計原則を説明できる。 3. 局部床義歯の設計手順を説明できる。 4. 支台装置の種類を分類できる。 5. 連結装置の種類を分類できる。 6. 局部床義歯を設計することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：講義および実習の関連項目の復習 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：演習（体験学修・ワークブックによる課題） 【学修方略（ＬＳ）】 演習 【場所（教室/実習室）】	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/06/17（火） 2時限 10:40～12:10	義歯の設計に関する演習（A班：201教室） B班【PD実-5】筋圧形成・精密印象・ボクシング・作業用模型の製作（6月10日2・3・4時限目を参照）	201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ア　義歯の設計 ａ　設計の原則 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真
2025/06/17（火） 3時限 13:10～14:40	講義・実習の振り返り・ポートフォリオ記載（A班：201教室） B班【PD実-5】筋圧形成・精密印象・ボクシング・作業用模型の製作（6月10日2・3・4時限目を参照）	【授業の一般目標】 有床義歯補綴治療を常に記録し、振り返りを行い、これまでに学修した内容（口腔内前処置・精密印象採得・作業用模型の製作、サベイング・義歯の設計）の統合を行うために必要な知識・技術・態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.口腔内前処置について説明できる。 3.精密印象採得について説明できる。 4.作業用模型の製作方法を説明できる。 5.作業用模型でのサベイングを説明できる。 6.義歯の設計原則を説明できる。 7.講義・実習を通じて学修した内容を振り返る事ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：これまでに学修した内容（口腔内前処置・精密印象採得・作業用模型の製作、サベイング・義歯の設計）の確認 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり：ポートフォリオへの記載による振り返り、指導教員とのディスカッション 【学修方略（ＬＳ）】 演習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ア　義歯の設計 ａ　設計の原則 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 イ　臨床操作 ａ　前処置 ｂ　印象採得 ａ　個人トレーの製作、作業用模型の製作 ｃ　サベイング、設計線の記入 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。 ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真 ＊北村　彩 園部　菜那 ＊中島　義雄
2025/06/17（火） 4時限 14:50～16:20	講義・実習の振り返り・ポートフォリオ記載（A班：201教室） B班【PD実-5】筋圧形成・精密印象・ボクシング・作業用模型の製作（6月10日2・3・4時限目を参照）	【授業の一般目標】 有床義歯補綴治療を常に記録し、振り返りを行い、これまでに学修した内容（口腔内前処置・精密印象採得・作業用模型の製作、サベイング・義歯の設計）の統合を行うために必要な知識・技術・態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.口腔内前処置について説明できる。 3.精密印象採得について説明できる。 4.作業用模型の製作方法を説明できる。 5.作業用模型でのサベイングを説明できる。 6.義歯の設計原則を説明できる。 7.講義・実習を通じて学修した内容を振り返る事ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：これまでに学修した内容（口腔内前処置・精密印象採得・作業用模型の製作、サベイング・義歯の設計）の確認 ・準備学修時間：３０分	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/06/17（火） 4時限 14:50～16:20	講義・実習の振り返り・ポートフォリオ記載（A班：201教室） B班【PD実-5】筋圧形成・精密印象・ボクシング・作業用模型の製作（6月10日2・3・4時限目を参照）	【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり：ポートフォリオへの記載による振り返り、指導教員とのディスカッション 【学修方略（ＬＳ）】 演習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ア　義歯の設計 ａ　設計の原則 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 イ　臨床操作 ａ　前処置 ｂ　印象採得 ａ　個人トレーの製作、作業用模型の製作 ｃ　サベイング、設計線の記入 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。 ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。	連記　真 ＊北村　彩 園部　菜那 ＊中島　義雄
2025/06/24（火） 1時限 09:00～10:30	【CD-2】無歯顎の概形印象採得・研究用模型・個人トレー	【授業の一般目標】 無歯顎患者の概形印象採得と研究用模型の製作を円滑に行うために必要な口腔周囲の解剖学、印象材の所用性質、印象方法と研究用模型の製作方法に関する知識、概形印象採得を安全に行う技能および態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき以下の項目を教授する。 2.無歯顎者に対する治療法を説明できる。 3.印象採得の種類と方法を説明できる。 4.アルジネート印象材の所用性質を述べることができる。 5.普通石膏の所用性質を述べることができる。 6.研究用模型の目的を述べることができる。 7.個人トレーの要件を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目　無歯顎補綴治療学：P102-112、113-115 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：ピア・インストラクション 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 イ　臨床操作 ｂ　印象採得 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 ウ　技工操作 ａ　個人トレーの製作、作業用模型の製作 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。	＊鈴木　亜沙子
2025/06/24（火） 2時限 10:40～12:10	【PD実-6】サベイング・最終設計・ブロックアウト・リリーフ 【PD実-7】ワイヤークラスプ屈曲（Aグループ）	【授業の一般目標】 部分歯列欠損患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、局部床義歯の作業用模型へのサベイング・最終設計・設計線に基づくブロックアウト・リリーフの実施、および支台装置（ワイヤークラスプ）の製作に関する知識、技能、態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/06/24（火） 2時限 10:40～12:10	【PD実-6】サベイング・最終設計・ブロックアウト・リリーフ 【PD実-7】ワイヤークラスプ屈曲（Aグループ）	1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.下顎作業用模型に対するサベイングができる。 3.最終設計ができる。 4.設計線に基づく作業用模型へのブロックアウト・リリーフができる。 5.ワイヤークラスプの屈曲ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：サベイング、義歯設計、ブロックアウト・リリーフに関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目（サベイング、最終設計、ブロックアウト・リリーフ） 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ウ　技工操作 ｃ　サベイング、設計線の記入 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ウ　技工操作 ｄ　支台装置、連結子、フレームワークの製作 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。	＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真
2025/06/24（火） 3時限 13:10～14:40	【PD実-6】サベイング・最終設計・ブロックアウト・リリーフ 【PD実-7】ワイヤークラスプ屈曲（Bグループ）	【授業の一般目標】 部分歯列欠損患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、局部床義歯の作業用模型へのサベイング・最終設計・設計線に基づくブロックアウト・リリーフの実施、および支台装置（ワイヤークラスプ）の製作に関する知識、技能、態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.下顎作業用模型に対するサベイングができる。 3.最終設計ができる。 4.設計線に基づく作業用模型へのブロックアウト・リリーフができる。 5.ワイヤークラスプの屈曲ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：サベイング、義歯設計、ブロックアウト・リリーフに関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目（サベイング、最終設計、ブロックアウト・リリーフ） 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ウ　技工操作 ｃ　サベイング、設計線の記入 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ウ　技工操作 ｄ　支台装置、連結子、フレームワークの製作 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯）	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真 小林　久純 風呂川　聡 ＊飯島　守雄

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/06/24（火） 3時限 13:10～14:40	【PD実-6】サベイング・最終設計・ブロックアウト・リリーフ 【PD実-7】ワイヤークラスプ屈曲（Bグループ）	⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真 小林　久純 風呂川　聡 ＊飯島　守雄
2025/06/24（火） 4時限 14:50～16:20	【PD実-6】サベイング・最終設計・ブロックアウト・リリーフ	【授業の一般目標】 部分歯列欠損患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、局部床義歯の作業用模型へのサベイング・最終設計・設計線に基づくブロックアウト・リリーフの実施に関する知識、技能、態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.下顎作業用模型に対するサベイングができる。 3.最終設計ができる。 4.設計線に基づく作業用模型へのブロックアウト・リリーフができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：サベイング、義歯設計、ブロックアウト・リリーフに関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目（サベイング、最終設計、ブロックアウト・リリーフ） 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ウ　技工操作 ｃ　サベイング、設計線の記入 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ウ　技工操作 ｄ　支台装置、連結子、フレームワークの製作 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真 小林　久純 風呂川　聡 ＊飯島　守雄
2025/07/01（火） 1時限 09:00～10:30	【実習技能試験①有床】サベイング	【授業の一般目標】 適切な局部床義歯製作に必要な模型上の検査方法を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.模型の設置が出来る 2.適切な検査ツールを選択できる 3.サベイングツールを使用することができる 4.検査後に適切な設計線を記載することができる 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：講義・実習で学修した内容の確認・復習 ・準備学修時間：６０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無：試験 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真 小野　仁徳 鎌田　征之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/01（火） 1時限 09:00～10:30	【実習技能試験①有床】サベイング	【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ウ　技工操作 ｃ　サベイング、設計線の記入 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。	＊神谷　和伸 木村　全孝 ＊古瀬　信彦 砂治　大介
2025/07/01（火） 2時限 10:40～12:10	【実習技能試験②有床】マウスプレパレーション	【授業の一般目標】 歯列の部分欠損に対する口腔内前処置に関する知識、技能および態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.支台歯に対する前処置ができる。 2.適切な器具の取り扱いができる 3.患者に配慮が出来る 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：講義・実習で学修した内容の確認・復習 ・準備学修時間：６０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無：試験 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 イ　臨床操作 ａ　前処置 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真 小野　仁徳 鎌田　征之 ＊神谷　和伸 木村　全孝 ＊古瀬　信彦 砂治　大介
2025/07/01（火） 3時限 13:10～14:40	【PD実-6】サベイング・最終設計・ブロックアウト・リリーフ	【授業の一般目標】 部分歯列欠損患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、局部床義歯の作業用模型へのサベイング・最終設計・設計線に基づくブロックアウト・リリーフの実施に関する知識、技能、態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.下顎作業用模型に対するサベイングができる。 3.最終設計ができる。 4.設計線に基づく作業用模型へのブロックアウト・リリーフができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：サベイング、義歯設計、ブロックアウト・リリーフに関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目（サベイング、最終設計、ブロックアウト・リリーフ） 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ウ　技工操作 ｃ　サベイング、設計線の記入 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ウ　技工操作 ｄ　支台装置、連結子、フレームワークの製作	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真 木村　全孝

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/01（火） 3時限 13:10～14:40	【PD実-6】サベイング・最終設計・ブロックアウト・リリーフ	【コアカリキュラム】 E　臨床歯学 E-3　歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4）　歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4）-（2）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真 木村　全孝
2025/07/01（火） 4時限 14:50～16:20	【PD実-6】サベイング・最終設計・ブロックアウト・リリーフ 【PD実-8】耐火模型の製作・フレームワークのワックスアップ	【授業の一般目標】 部分歯列欠損患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、耐火模型によるフレームワークの製作手順を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.耐火模型の製作方法について説明できる。 3.フレームワークの製作順序を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：耐火模型の製作・フレームワークのワックスアップに関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：演習・反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目（耐火模型の製作、フレームワークのワックスアップ） ワークブックによる演習・指導教員によるデモンストレーション 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ウ　技工操作 ｄ　支台装置、連結子、フレームワークの製作 【コアカリキュラム】 E　臨床歯学 E-3　歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4）　歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4）-（2）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑫可撤性義歯の製作過程を説明できる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真 木村　全孝
2025/07/08（火） 1時限 09:00～10:30	【実習技能試験③有床】概形印象採得	【授業の一般目標】 無歯顎患者および部分欠損歯列の概形印象採得を円滑に行うために必要な知識、技能および態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.概形印象採得に使うトレーを選択できる 2.トレーの試適を行う事ができる 3.印象材の練和を適切にできる 4.患者への配慮ができる 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：講義および実習の復習 準備学修時間：６０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無：試験 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 イ　臨床操作 ｂ　印象採得 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真 梅木　賢人 ＊神谷　和伸 倉田　豊 宗　邦雄 髙橋　卓裕 鶴見　毅 内藤　元 ＊渡邊　丈紘

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/08（火） 1時限 09:00～10:30	【実習技能試験③有床】概形印象採得	各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 イ　臨床操作 ｂ　印象採得 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真 梅木　賢人 ＊神谷　和伸 倉田　豊 宗　邦雄 髙橋　卓裕 鶴見　毅 内藤　元 ＊渡邊　丈紘
2025/07/08（火） 2時限 10:40～12:10	【実習技能試験③有床】概形印象採得	【授業の一般目標】 無歯顎患者および部分欠損歯列の概形印象採得を円滑に行うために必要な知識、技能および態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.概形印象採得に使うトレーを選択できる 2.トレーの試適を行う事ができる 3.印象材の練和を適切にできる 4.患者への配慮ができる 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：講義および実習の復習 準備学修時間：６０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無：試験 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 イ　臨床操作 ｂ　印象採得 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 イ　臨床操作 ｂ　印象採得 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真 梅木　賢人 ＊神谷　和伸 倉田　豊 宗　邦雄 髙橋　卓裕 鶴見　毅 内藤　元 ＊渡邊　丈紘
2025/07/08（火） 3時限 13:10～14:40	【CD実-1】無歯顎の概形印象採得・研究用模型の製作	【授業の一般目標】 無歯顎患者の印象採得を円滑に行うために必要な口腔周囲の解剖学、印象材、印象方法および研究用模型の製作方法に関する知識および技能を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.アルジネート印象材の練和ができる。 3.普通石膏の練和ができる。 4.研究用模型の規格に従い、製作することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：無歯顎の概形印象採得・研究用模型の製作に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目（無歯顎の概形印象採得、研究用模型の製作）	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真 倉田　豊

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/08（火） 3時限 13:10～14:40	【CD実-1】無歯顎の概形印象採得・研究用模型の製作	【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 イ　臨床操作 ｂ　印象採得 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真 倉田　豊
2025/07/08（火） 4時限 14:50～16:20	【CD実-1】無歯顎の概形印象採得・研究用模型の製作	【授業の一般目標】 無歯顎患者の印象採得を円滑に行うために必要な口腔周囲の解剖学、印象材、印象方法および研究用模型の製作方法に関する知識および技能を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.アルジネート印象材の練和ができる。 3.普通石膏の練和ができる。 4.研究用模型の規格に従い、製作することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：無歯顎の概形印象採得・研究用模型の製作に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目（無歯顎の概形印象採得、研究用模型の製作） 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 イ　臨床操作 ｂ　印象採得 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真 倉田　豊
2025/07/15（火） 1時限 09:00～10:30	【CD-3】無歯顎の精密印象と作業用模型	【授業の一般目標】 無歯顎患者の筋圧形成と精密印象を正確に行うために必要な口腔周囲の解剖学、印象材の所用性質、印象方法に関する知識、精密印象採得を安全に配慮しながら行う知識・技能および態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき以下の項目を教授する。 2.個人トレーの目的を説明できる。 3.個人トレーの設計要件を説明できる 4.トレー用常温重合レジンの所用性質を述べることができる。 5.精密印象の手順を述べる。 6.無歯顎に用いる精密印象材を列挙する。 【準備学修項目と準備学修時間】 無歯顎補綴治療学（P115-122, 122-125） 60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：ピアインストラクション 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 イ　臨床操作	＊鈴木　亜沙子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/15（火） 1時限 09:00～10:30	【CD-3】無歯顎の精密印象と作業用模型	b　印象採得 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 イ　臨床操作 a　前処置 【コアカリキュラム】 E　臨床歯学 E-３　歯と歯周組織の常態と疾患 E-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 E-３-４）-（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。	＊鈴木　亜沙子
2025/07/15（火） 2時限 10:40～12:10	実習技能試験①・②・③のフィードバック・振り返り	【授業の一般目標】 実習技能試験①・②・③の振り返り・フィードバックを行うことにより、これまでに学修した内容の統合を行うために必要な知識・技術・態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.支台装置について説明できる。 3.連結装置・義歯床について説明できる。 4.有床義歯の口腔内前処置について説明できる。 5.局部床義歯の精密印象採得について説明できる。 6.局部床義歯のフレームワークについて説明できる。 7.全部床義歯の維持・支持・安定に関わる構成要素を説明できる。 8.全部床義歯の概形印象採得について説明できる。 9.全部床義歯の精密印象採得について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 とくになし 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり：ポートフォリオへの記載による振り返り 301教室 【学修方略（ＬＳ）】 演習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ウ　技工操作 c　サベイング、設計線の記入 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 イ　臨床操作 a　前処置 b　印象採得 【コアカリキュラム】 E　臨床歯学 E-３　歯と歯周組織の常態と疾患 E-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 E-３-４）-（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ①歯の欠損、顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。 ②可撤性義歯の種類、目的及び意義を説明できる。 ③可撤性義歯の特徴と適応症を説明できる。 ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。 ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。 ⑫可撤性義歯の製作過程を説明できる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真
2025/07/15（火） 3時限 13:10～14:40	【CD実-2】個人トレーの製作	【授業の一般目標】 無歯顎患者の精密印象を採得するために用いる個人トレーの製作を円滑に行うために必要な製作方法に関する知識、口腔周囲の組織と調和した形態に仕上げる技能を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.研究用模型の前準備を行うことができる。 3.義歯床と個人トレーの外形線を記入することができる。 4.トレー用常温重合レジンの混和ができる。 5.トレー用常温重合レジンを圧接して成形ができる。 6.把柄を付与して完成することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：個人トレーの製作に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/15（火） 3時限 13:10～14:40	【CD実-2】個人トレーの製作	有：反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目（個人トレーの製作） 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 ウ　技工操作 ａ　個人トレーの製作、作業用模型の製作 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真
2025/07/15（火） 4時限 14:50～16:20	【CD実-2】個人トレーの製作	【授業の一般目標】 無歯顎患者の精密印象を採得するために用いる個人トレーの製作を円滑に行うために必要な製作方法に関する知識、口腔周囲の組織と調和した形態に仕上げる技能を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.研究用模型の前準備を行うことができる。 3.義歯床と個人トレーの外形線を記入することができる。 4.トレー用常温重合レジンの混和ができる。 5.トレー用常温重合レジンを圧接して成形ができる。 6.把柄を付与して完成することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：個人トレーの製作に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目（個人トレーの製作） 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 ウ　技工操作 ａ　個人トレーの製作、作業用模型の製作 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真
2025/07/22（火） 1時限 09:00～10:30	補充講義・特別講義２（補綴歯科治療に関連する顎口腔系の形態と機能、作業環境の整備）	【授業の一般目標】 歯列欠損患者および無歯顎患者に対する補綴歯科治療を実施できるようになるために、必要な関連する知識および態度を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.歯列欠損患者および無歯顎患者が有する背景を説明できる。 3.歯列欠損患者および無歯顎患者の治療方針について説明できる。 4.歯列欠損患者および無歯顎患者に関連する人体・口腔の構造を説明できる。 5.歯列欠損患者および無歯顎患者に関連する人体・口腔の機能を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：これまでに学修した内容の振り返りとポートフォリオへの記載 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有 LS：講義資料、プリント、Youtubeの予習教材 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】	＊五十嵐　憲太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/22（火） 1時限 09:00～10:30	補充講義・特別講義２（補綴歯科治療に関連する顎口腔系の形態と機能、作業環境の整備）	201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ２　診察、検査、診断 エ　治療計画の立案 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ６　口腔・顎顔面の機能 イ　運動 ａ　下顎位、咬合接触・咬合様式、下顎運動 ｃ　舌・口唇・頬・顔面運動 ａ　咀嚼能力 オ　発声、構音 ７　人体の成長・発達・加齢変化 エ　口腔・顎顔面の加齢変化 ａ　器質的変化 ｂ　機能的変化 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ②可撤性義歯の種類、目的及び意義を説明できる。	＊五十嵐　憲太郎
2025/07/22（火） 2時限 10:40～12:10	補充実習（概形印象採得・研究用模型の製作・個人トレーの製作）	【授業の一般目標】 無歯顎患者の概形印象・研究用模型の製作・個人トレーの製作を円滑に行うために必要な知識、口腔周囲の組織と調和した形態に仕上げる技能を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.概形印象採得を行うことができる。 3.研究用模型を製作できる。 4.研究用模型の前準備を行うことができる。 5.義歯床と個人トレーの外形線を記入することができる。 6.個人トレーを製作できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：個人トレーの製作に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目（個人トレーの製作） 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 ウ　技工操作 ａ　個人トレーの製作、作業用模型の製作 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真
2025/07/22（火） 3時限 13:10～14:40	【CD実-3】精密印象の採得と作業用模型の製作（A班：第2実習室） B班　演習（印象採得の種類・方法） （8月19日3時限目を参照）	【授業の一般目標】 無歯顎患者の筋圧形成と精密印象を正確に行うために必要な口腔周囲の解剖学、印象材の所用性質、印象方法に関する知識、精密印象採得を安全に配慮しながら行う技能および態度をする。 無歯顎の精密印象で記録した解剖学的および機能的要件を正確に作業用模型に再現するために必要な知識、技能および態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.個人トレーの口腔内試適が適切にできる。 3.個人トレーを用いて筋圧形成ができる。 4.筋圧形成の適否を評価できる。 5.無歯顎に適切な精密印象材を選択できる。 6.精密印象を採得できる。 7.作業用模型の製作の手順を述べることができる。 8.ボクシングの前準備を行うことができる。 9.精密印象のボクシングができる。 10.作業用模型を調整し製作できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：精密印象採得・作業用模型の製作に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真 ＊北村　彩 小林　久純

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/22（火） 3時限 13:10～14:40	【CD実-3】精密印象の採得と作業用模型の製作（A班：第2実習室） B班　演習（印象採得の種類・方法） （8月19日3時限目を参照）	・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目（筋圧形成、精密印象、ボクシング、作業用模型の製作） 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 イ　臨床操作 ｂ　印象採得 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 ウ　技工操作 ａ　個人トレーの製作、作業用模型の製作 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真 ＊北村　彩 小林　久純
2025/07/22（火） 4時限 14:50～16:20	【CD実-3】精密印象の採得と作業用模型の製作（A班：第2実習室） B班　講義・実習の振り返り・ポートフォリオ記載 （8月19日4時限目を参照）	【授業の一般目標】 無歯顎患者の筋圧形成と精密印象を正確に行うために必要な口腔周囲の解剖学、印象材の所用性質、印象方法に関する知識、精密印象採得を安全に配慮しながら行う技能および態度をする。 無歯顎の精密印象で記録した解剖学的および機能的要件を正確に作業用模型に再現するために必要な知識、技能および態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.個人トレーの口腔内試適が適切にできる。 3.個人トレーを用いて筋圧形成ができる。 4.筋圧形成の適否を評価できる。 5.無歯顎に適切な精密印象材を選択できる。 6.精密印象を採得できる。 7.作業用模型の製作の手順を述べることができる。 8.ボクシングの前準備を行うことができる。 9.精密印象のボクシングができる。 10.作業用模型を調整し製作できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：精密印象採得・作業用模型の製作に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目（筋圧形成、精密印象、ボクシング、作業用模型の製作） 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 イ　臨床操作 ｂ　印象採得 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 ウ　技工操作 ａ　個人トレーの製作、作業用模型の製作 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真 ＊北村　彩 小林　久純
2025/08/19（火） 1時限 09:00～10:30	【平常試験②（有床）】（9:00-10:00）	【授業の一般目標】 患者の治療を自立して行うために必要な補綴学の基本的な知識、技能および態度を修得する。	＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊小出　恭代

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	【平常試験②（有床）】（9:00-10:00）	【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.支台装置について説明できる。 2.連結装置・義歯床について説明できる。 3.有床義歯の口腔内前処置について説明できる。 4.局部床義歯の精密印象採得について説明できる。 5.局部床義歯のフレームワークについて説明できる。 6.全部床義歯の維持・支持・安定に関わる構成要素を説明できる。 7.全部床義歯の概形印象採得について説明できる。 8.全部床義歯の精密印象採得について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 範囲:　PD4～PD8, CD1～3, 特別講義・補充講義1～2, MCQ　50問 準備学修項目：上記内容の復習 準備学修時間：講義相当数時分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし：試験 301教室 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ２　歯・歯周組織・咬合の治療 ア　基本的術式 ｄ　歯の欠如・欠損の治療 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ①歯の欠損、顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。 ②可撤性義歯の種類、目的及び意義を説明できる。 ③可撤性義歯の特徴と適応症を説明できる。 ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。 ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。 ⑫可撤性義歯の製作過程を説明できる。	＊伊藤　誠康 ＊河相　安彦 ＊鈴木　亜沙子
2025/08/19（火） 2時限 10:40～12:10	平常試験②の振り返り	【授業の一般目標】 平常試験②の振り返り・フィードバックを行うことにより、これまでに学修した内容の統合を行うために必要な知識・技術・態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.支台装置について説明できる。 3.連結装置・義歯床について説明できる。 4.有床義歯の口腔内前処置について説明できる。 5.局部床義歯の精密印象採得について説明できる。 6.局部床義歯のフレームワークについて説明できる。 7.全部床義歯の維持・支持・安定に関わる構成要素を説明できる。 8.全部床義歯の概形印象採得について説明できる。 9.全部床義歯の精密印象採得について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 とくになし 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり：ポートフォリオへの記載による振り返り 301教室 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ２　歯・歯周組織・咬合の治療 ア　基本的術式 ｄ　歯の欠如・欠損の治療 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ①歯の欠損、顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。 ②可撤性義歯の種類、目的及び意義を説明できる。 ③可撤性義歯の特徴と適応症を説明できる。 ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。 ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。	＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊小出　恭代 ＊伊藤　誠康 ＊河相　安彦 ＊鈴木　亜沙子 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 ＊佐藤　佳奈美 山崎　亜莉沙 ＊小川　貴大

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/08/19（火） 2時限 10:40～12:10	平常試験②の振り返り	⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。 ⑫可撤性義歯の製作過程を説明できる。	＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊小出　恭代 ＊伊藤　誠康 ＊河相　安彦 ＊鈴木　亜沙子 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 ＊佐藤　佳奈美 山崎　亜莉沙 ＊小川　貴大
2025/08/19（火） 3時限 13:10～14:40	演習（印象採得の種類・方法）（A班：201教室） B班　【CD実-3】 精密印象の採得と作業用模型の製作（7月22日3・4時限目を参照）	【授業の一般目標】 無歯顎患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、無歯顎者の筋圧形成・精密印象採得に関する知識・技能を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.無歯顎者の筋圧形成について説明できる。 3.印象材の種類を分類できる。 4.印象採得の種類を分類できる。 5.精密印象採得に用いる印象材を列挙できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：講義内容（CD-1,2,3）の確認・復習 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：演習（ワークブックによる課題） 【学修方略（ＬＳ）】 演習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 イ　臨床操作 ｂ　印象採得 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真 ＊北村　彩 小林　久純
2025/08/19（火） 4時限 14:50～16:20	講義・実習の振り返り・ポートフォリオ記載（A班：201教室） B班　【CD実-3】 精密印象の採得と作業用模型の製作（7月22日3・4時限目を参照）	【授業の一般目標】 有床義歯補綴治療を常に記録し、振り返りを行い、これまでに学修した内容（無歯顎の概形印象採得・研究用模型の製作）の統合を行うために必要な知識・技術・態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.無歯顎の概形印象採得について説明できる。 3.研究用模型の製作方法について説明できる。 4.講義・実習を通じて学修した内容を振り返る事ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：これまでに学修した内容（無歯顎者の概形印象・研究用模型の製作）の確認 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり：ポートフォリオへの記載による振り返り、指導教員とのディスカッション 【学修方略（ＬＳ）】 演習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 イ　臨床操作 ｂ　印象採得 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真 ＊北村　彩 小林　久純

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/09/09（火） 2時限 10:40～12:10	【CD-4】 無歯顎の顎間関係の記録	【授業の一般目標】 無歯顎患者の顎間関係の記録を円滑に行うために必要な形態的および機能的な設定方法に関する知識、顎間関係の記録を安全に行う技能および態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.無歯顎者の顎間関係の記録の手順を説明できる。 3.仮想咬合平面の設定方法を説明できる。 4.無歯顎者の垂直的顎間関係の設定方法を説明できる。 5.無歯顎者の水平的顎間関係の設定方法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 無歯顎補綴治療学：5章および6章 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：なし 学習媒体：授業プリント，PCでの解説 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 イ　臨床操作 ｃ　顎間関係の記録 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑦歯の欠損した歯列での下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。 ⑧調節性咬合器の基本的操作方法、フェイスボウトランスファー、チェックバイト法を説明できる。	＊小川　晃奈
2025/09/09（火） 3時限 13:10～14:40	【CD実-4】咬合床の製作	【授業の一般目標】 無歯顎患者の顎間関係記録を正確に行うために必要な咬合床を製作するために必要な規格、手順と材料の取り扱いに関する知識、技能および態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.作業用模型に基準線を記入することができる。 3.作業用模型のブロックアウト・リリーフができる。 4.咬合堤の標準形態を述べることができる。 5.咬合床を製作することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：咬合床の製作に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目（作業用模型へのブロックアウト・リリーフ、咬合床の製作） 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 ウ　技工操作 ａ　個人トレーの製作、作業用模型の製作 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑦歯の欠損した歯列での下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真 大河原　純也 河合　竜志 古谷　佳輝
2025/09/09（火） 4時限 14:50～16:20	【CD実-4】咬合床の製作	【授業の一般目標】 無歯顎患者の顎間関係記録を正確に行うために必要な咬合床を製作するために必要な規格、手順と材料の取り扱いに関する知識、技能および態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.作業用模型に基準線を記入することができる。 3.作業用模型のブロックアウト・リリーフができる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/09/09（火） 4時限 14:50～16:20	【CD実-4】咬合床の製作	4.咬合堤の標準形態を述べることができる。 5.咬合床を製作することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：咬合床の製作に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目（作業用模型へのブロックアウト・リリーフ、咬合床の製作） 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 ウ　技工操作 ａ　個人トレーの製作、作業用模型の製作 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑦歯の欠損した歯列での下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。	＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真 大河原　純也 河合　竜志 古谷　佳輝
2025/09/16（火） 2時限 10:40～12:10	【CD-5】無歯顎の下顎運動の記録	【授業の一般目標】 無歯顎患者の顎間関係の記録を円滑に行うために必要な形態的および機能的な設定方法に関する知識、顎間関係の記録を安全に行う技能および態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.無歯顎の下顎運動の記録法と咬合器の調節を説明できる。 3.無歯顎に設定する下顎位の方法を説明できる。 4.無歯顎の下顎運動の記録することができる。 5.下顎運動記録後の咬合器調節法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 無歯顎補綴治療学：5章および6章 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：なし 学習媒体：授業プリント，PCでの解説 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 ウ　技工操作 ｂ　咬合器装着・調節 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑦歯の欠損した歯列での下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。 ⑧調節性咬合器の基本的操作方法、フェイスボウトランスファー、チェックバイト法を説明できる。	＊五十嵐　憲太郎
2025/09/16（火） 3時限 13:10～14:40	【CD実-5】顎間関係の記録・咬合器付着（A班：第2実習室） B班　演習（顎間関係の記録）（9月30日3時限目を参照）	【授業の一般目標】 上下顎無歯顎患者に適切な顎間関係を記録するために必要な理論と手技を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.上下無歯顎の顎の対向関係位の設定ができる。 3.無歯顎作業用模型の咬合器付着ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：顎間関係の記録・咬合器への付着に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目（顎間関係の記録、咬合器への付着）	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/09/16（火） 3時限 13:10～14:40	【CD実-5】顎間関係の記録・咬合器付着（A班：第2実習室） B班　演習（顎間関係の記録）（9月30日3時限目を参照）	【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 イ　臨床操作 ｃ　顎間関係の記録 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 ウ　技工操作 ｂ　咬合器装着・調節 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑦歯の欠損した歯列での下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。 ⑧調節性咬合器の基本的操作方法、フェイスボウトランスファー、チェックバイト法を説明できる。 ⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。 ⑫可撤性義歯の製作過程を説明できる。	山崎　亜莉紗 連記　真 ＊北村　彩 町田　健
2025/09/16（火） 4時限 14:50～16:20	【CD実-5】顎間関係の記録・咬合器付着（A班：第2実習室） B班　講義・実習の振り返り・ポートフォリオ記載（9月30日4時限目を参照）	【授業の一般目標】 上下顎無歯顎患者に適切な顎間関係を記録するために必要な理論と手技を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.上下無歯顎の顎の対向関係位の設定ができる。 3.無歯顎作業用模型の咬合器付着ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：顎間関係の記録・咬合器への付着に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目（顎間関係の記録、咬合器への付着） 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 イ　臨床操作 ｃ　顎間関係の記録 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 ウ　技工操作 ｂ　咬合器装着・調節 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑦歯の欠損した歯列での下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。 ⑧調節性咬合器の基本的操作方法、フェイスボウトランスファー、チェックバイト法を説明できる。 ⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。 ⑫可撤性義歯の製作過程を説明できる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真 ＊北村　彩 町田　健
2025/09/30（火） 2時限 10:40～12:10	【PD-9】局部床義歯のクラスプ・フレームワークの試適，オルタードキャスト印象法	【授業の一般目標】 部分歯列欠損患者に適切な補綴歯科治療が実施できるようになるために、局部床義歯のフレームワークの試適とオルタードキャスト印象法および模型改造に関する知識および技能を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき以下の項目を教授する。 2. 歯列部分欠損に対する治療法を説明できる。 3.可徹性部分床義歯のフレームワークの試適方法について説明できる。 4.可徹性部分床義歯のフレームワークの試適に必要な器材を列挙できる。	＊井上　正安 ＊石井　智浩

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/09/30（火） 2時限 10:40～12:10	【PD-9】局部床義歯のクラスプ・フレームワークの試適，オルタードキャスト印象法	5.オルタードキャスト印象法（模型改造印象法）について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 歯学生のパーシャルデンチャー：14章（P122-127），18章（P169-171），２３章（P228-234） 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：ピア・インストラクション 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 イ　臨床操作 ｄ　試適（ろう義歯、フレームワーク） 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 イ　臨床操作 ｂ　印象採得 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑫可撤性義歯の製作過程を説明できる。	＊井上　正安 ＊石井　智浩
2025/09/30（火） 3時限 13:10～14:40	演習（顎間関係の記録）（A班：201教室） B班【CD実-5】顎間関係の記録・咬合器付着（9月16日3・4時限目を参照）	【授業の一般目標】 部分歯列欠損および無歯顎患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、顎間関係の記録に関する知識・技能を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.歯の欠損の状態による顎間関係の記録の違いを説明できる。 3.咬合床の製作方法について説明できる。 4.咬合床試適時の注意事項について説明できる。 5.仮想咬合平面の設定方法を説明できる。 6.垂直的顎間関係の設定方法を説明できる。 7.水平的顎間関係の設定方法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：これまでの講義・実習内容の確認・復習 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：演習（ワークブックによる課題） 【学修方略（ＬＳ）】 演習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 イ　臨床操作 ｃ　顎間関係の記録 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。	＊伊藤　誠康 ＊五十嵐　憲太郎 ＊石井　智浩 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 藤井　あゆ 古谷　佳輝 山崎　亜莉沙 連記　真 ＊飯島　守雄 ＊北村　彩 小林　久純
2025/09/30（火） 4時限 14:50～16:20	講義・実習の振り返り・ポートフォリオ記載（A班：201教室） B班【CD実-5】顎間関係の記録・咬合器付着（9月16日3・4時限目を参照） 有：演習	【授業の一般目標】 有床義歯補綴治療を常に記録し、振り返りを行い、これまでに学修した内容（咬合床の製作・顎間関係の記録・咬合器への付着）の統合を行うために必要な知識・技術・態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.咬合床の製作方法について説明できる。 3.顎間関係の記録方法を説明できる。 4.咬合器への付着について説明できる。 5.講義・実習を通じて学修した内容を振り返る事ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：これまでに学修した内容（咬合床の製作・顎間関係の記録・咬合器への付着）の確認	＊伊藤　誠康 ＊五十嵐　憲太郎 ＊石井　智浩 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 ＊佐藤　佳奈美 山崎　亜莉沙 ＊飯島　守雄 ＊北村　彩

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/09/30（火） 4時限 14:50～16:20	講義・実習の振り返り・ポートフォリオ記載（A班：201教室） B班【CD実-5】顎間関係の記録・咬合器付着（9月16日3・4時限目を参照） 有：演習	・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり：ポートフォリオへの記載による振り返り、指導教員とのディスカッション 【学修方略（ＬＳ）】 演習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 イ　臨床操作 ｃ　顎間関係の記録 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑦歯の欠損した歯列での下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。 ⑧調節性咬合器の基本的操作方法、フェイスボウトランスファー、チェックバイト法を説明できる。 ⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。 ⑫可撤性義歯の製作過程を説明できる。	小林　久純
2025/10/07（火） 2時限 10:40～12:10	【PD-10】局部床義歯の咬合床の要件と製作・顎間関係の記録	【授業の一般目標】 部分歯列欠損患者に適切な補綴歯科治療できるようになるために、局部床義歯の咬合床・下顎位・咬合採得を行うのに必要な補綴学の知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき以下の項目を教授する。 2.歯列部分欠損に対する治療法を説明できる。 3.局部床義歯の咬合床について説明できる。 4.部分欠損の咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 5.部分欠損の下顎運動の記録法と咬合器の調節を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目　歯学生のパーシャルデンチャー：19章（P174-191）、5章（P31-38）、6章（P51-55）、7章（P59-65） ・準備学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：ピア・インストラクション 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 イ　臨床操作 ｃ　顎間関係の記録 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑦歯の欠損した歯列での下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。 ⑧調節性咬合器の基本的操作方法、フェイスボウトランスファー、チェックバイト法を説明できる。	＊伊藤　誠康
2025/10/07（火） 3時限 13:10～14:40	【PD実-9】クラスプ・フレームワークの試適	【授業の一般目標】 部分歯列欠損患者に適切な補綴歯科治療が行えるようになるために、クラスプ・フレームワークの試適に関する知識・技能・態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.局部床義歯の咬合床の要件を述べることができる。 3.局部床義歯の咬合床を製作できる 4.クラスプ・フレームワークの試適ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：クラスプ・フレームワークの試適に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：反転授業・実習	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/07（火） 3時限 13:10～14:40	【PD実-9】クラスプ・フレームワークの試適	実習書、Youtubeの予習項目（クラスプ・フレームワークの試適） 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 イ　臨床操作 ｄ　試適（ろう義歯、フレームワーク） 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。	山崎　亜莉紗 連記　真 岸　髙生 桑島　梓
2025/10/07（火） 4時限 14:50～16:20	【PD実-10】局部床義歯の咬合床の製作	【授業の一般目標】 部分歯列欠損患者に適切な補綴歯科治療が行えるようになるために、適切な咬合採得を円滑に行うのに必要な咬合床の製作方法に関する知識・技能・態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.局部床義歯の咬合床の要件を述べることができる。 3.局部床義歯の咬合床を製作することができる。 4.クラスプ・フレームワークの試適ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：咬合床の製作に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目（咬合床の製作） 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 イ　臨床操作 ｃ　顎間関係の記録 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑫可撤性義歯の製作過程を説明できる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真 岸　髙生 桑島　梓
2025/10/14（火） 2時限 10:40～12:10	【有床-1】有床義歯の人工歯・人工歯の選択、咬合様式・咬合平衡の理論	【授業の一般目標】 部分歯列欠損および無歯顎患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、有床義歯の人工歯とその適切な選択、人工歯排列による咬合様式と咬合平衡の理論に関する知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき以下の項目を教授する。 2.人工歯の種類を列挙できる。 3.人工歯の選択基準を述べることができる 4.部分歯列欠損および無歯顎者に対する咬合様式を説明できる。 5.両側性咬合平衡について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：無歯顎補綴治療学：７章（P181-210）、歯学生のパーシャルデンチャー：9章（P76）、13章（P116-117）、19章（P181-185） ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：ピア・インストラクション 教科書（歯学生のパーシャルデンチャー・無歯顎補綴治療学）、配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室	＊伊藤　誠康 ＊五十嵐　憲太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/14（火） 2時限 10:40～12:10	【有床-1】有床義歯の人工歯・人工歯の選択、咬合様式・咬合平衡の理論	【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ウ　技工操作 ｅ　人工歯の選択・排列・歯肉形成 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 ス　患者管理の基本 ａ　口腔環境の評価（口腔清掃状態、補綴装置の清掃状態、残存歯の状態、口腔粘膜の状態、咬合状態、補綴装置の適合状態、顎堤の状態、唾液、味覚） 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ６　口腔・顎顔面の機能 イ　運動 ａ　下顎位、咬合接触・咬合様式、下顎運動 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑨人工歯の選択を説明できる。 ⑩可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。	＊伊藤　誠康 ＊五十嵐　憲太郎
2025/10/14（火） 3時限 13:10～14:40	演習（下顎運動・顆路角の調節） （A班：201教室） B班【PD実-11】局部床義歯の顎間関係の記録・フェイスボウトランスファー・咬合器への付着（11月25日3・4時限目を参照）	【授業の一般目標】 部分歯列欠損および無歯顎患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、顎間関係の記録・下顎運動および顆路角の記録・調節に関する知識・技能を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.顎間関係・下顎運動・顆路角の記録に関わる基準点と基準平面を説明できる。 3.フェイスボウトランスファーについて説明できる。 4.下顎運動の記録方法を説明できる。 5.顆路角の記録・調節方法を説明できる。 6.咬合器への付着方法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：講義および実習内容の復習 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：演習（ワークブックによる課題） 【学修方略（ＬＳ）】 演習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 イ　臨床操作 ｃ　顎間関係の記録 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ウ　技工操作 ｂ　咬合器装着・調節 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑦歯の欠損した歯列での下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。 ⑧調節性咬合器の基本的操作方法、フェイスボウトランスファー、チェックバイト法を説明できる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真 ＊北村　彩
2025/10/14（火） 4時限 14:50～16:20	講義・実習の振り返り・ポートフォリオ記載（A班：201教室） B班【PD実-11】局部床義歯の顎間関係の記録・フェイスボウトランスファー・咬合器への付着（11月25日3・4時限目	【授業の一般目標】 有床義歯補綴治療を常に記録し、振り返りを行い、これまでに学修した内容（フレームワークの試適・咬合床の製作・フェイスボウトランスファー・顎間関係の記録・咬合器への付着）の統合を行うために必要な知識・技術・態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.フレームワークの試適について説明できる。 3.咬合床の製作方法について説明できる。 4.フェイスボウトランスファーについて説明できる。 5.顎間関係の記録について説明できる。 6.咬合器への付着について説明できる。 7.講義・実習を通じて学修した内容を振り返る事ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/14（火） 4時限 14:50～16:20	講義・実習の振り返り・ポートフォリオ記載（A班：201教室） B班【PD実-11】局部床義歯の顎間関係の記録・フェイスボウトランスファー・咬合器への付着（11月25日3・4時限目	・準備学修項目：これまでに学修した内容（フレームワークの試適・咬合床の製作・フェイスボウトランスファー・顎間関係の記録・咬合器への付着）の確認 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり：ポートフォリオへの記載による振り返り、指導教員とのディスカッション 【学修方略（ＬＳ）】 演習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 イ　臨床操作 ｃ　顎間関係の記録 【コアカリキュラム】 Ａ　歯科医師として求められる基本的な資質・能力 Ａ-２　医学知識と問題対応能力 Ａ-２-１）　課題探求・解決能力 ①必要な課題を自ら発見できる。 ②自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる. ③課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 ④課題の解決に当たり、他の学習者や教員と協力してよりよい解決方法を見出すことができる。 ⑤適切な自己評価ができ、改善のための具体的方策を立てることができる。	藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真 ＊北村　彩
2025/10/21（火） 2時限 10:40～12:10	【有床-2】有床義歯の人工歯排列および歯肉形成	【授業の一般目標】 部分歯列欠損および無歯顎患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、必要な人工歯排列に関する知識および技能を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき以下の内容を教授する。 2.有床義歯の人工歯排列方法を列挙できる。 3.有床義歯の歯肉形成について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：無歯顎補綴治療学：７章（P188-193、200-210）、８章（P211-212）、歯学生のパーシャルデンチャー：24章（P235-242） ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：ピア・インストラクション 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 ウ　技工操作 ｃ　人工歯の選択・排列・歯肉形成 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ウ　技工操作 ｅ　人工歯の選択・排列・歯肉形成 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑨人工歯の選択を説明できる。 ⑩可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。	＊鈴木　亜沙子 ＊五十嵐　憲太郎 ＊伊藤　誠康
2025/10/21（火） 3時限 13:10～14:40	【CD実-6】人工歯排列（前歯人工歯の排列）	【授業の一般目標】 無歯顎患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、上下顎無歯顎者に対する人工歯排列の知識・技能・態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.総義歯前歯部排列の要点を述べることができる。 3.総義歯前歯部排列の順序を説明できる。 4.総義歯前歯部排列を行うことができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：人工歯排列に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/21（火） 3時限 13:10～14:40	【CD実-6】人工歯排列（前歯人工歯の排列）	・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目（総義歯の人工歯排列） 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 ウ　技工操作 ｃ　人工歯の選択・排列・歯肉形成 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑨人工歯の選択を説明できる。 ⑩可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。	樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真 松丸　悠一
2025/10/21（火） 4時限 14:50～16:20	【CD実-6】人工歯排列（前歯人工歯の排列）	【授業の一般目標】 無歯顎患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、上下顎無歯顎者に対する人工歯排列の知識・技能・態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.総義歯前歯部排列の要点を述べることができる。 3.総義歯前歯部排列の順序を説明できる。 4.総義歯前歯部排列を行うことができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：人工歯排列に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目（総義歯の人工歯排列） 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 ウ　技工操作 ｃ　人工歯の選択・排列・歯肉形成 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑨人工歯の選択を説明できる。 ⑩可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真 松丸　悠一
2025/10/28（火） 2時限 10:40～12:10	グループ学修に関する説明 【CD実-7】人工歯排列（前歯人工歯の排列・臼歯人工歯の排列）	【授業の一般目標】 無歯顎患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、上下顎総義歯のフルバランスドオクルージョンに基づく人工歯排列の実際を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.総義歯臼歯部人工歯排列の要点を説明できる。 3.総義歯臼歯部人工歯排列の順番を説明できる。 4.総義歯臼歯部に付与する調節彎曲について説明できる。 5.総義歯臼歯部の人工歯排列を行うことができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：人工歯排列に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目（総義歯の人工歯排列） 【学修方略（ＬＳ）】 実習	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/28（火） 2時限 10:40～12:10	グループ学修に関する説明 【CD実-7】人工歯排列（前歯人工歯の排列・臼歯人工歯の排列）	【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 ウ　技工操作 ｃ　人工歯の選択・排列・歯肉形成 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑨人工歯の選択を説明できる。 ⑩可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真
2025/10/28（火） 3時限 13:10～14:40	【CD実-7】人工歯排列（前歯人工歯の排列・臼歯人工歯の排列）	【授業の一般目標】 無歯顎患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、上下顎総義歯のフルバランスドオクルージョンに基づく人工歯排列の実際を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.総義歯臼歯部人工歯排列の要点を説明できる。 3.総義歯臼歯部人工歯排列の順番を説明できる。 4.総義歯臼歯部に付与する調節彎曲について説明できる。 5.総義歯臼歯部の人工歯排列を行うことができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：人工歯排列に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目（総義歯の人工歯排列） 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 ウ　技工操作 ｃ　人工歯の選択・排列・歯肉形成 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑨人工歯の選択を説明できる。 ⑩可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真 小林　久純
2025/10/28（火） 4時限 14:50～16:20	【CD実-7】人工歯排列（前歯人工歯の排列・臼歯人工歯の排列）	【授業の一般目標】 無歯顎患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、上下顎総義歯のフルバランスドオクルージョンに基づく人工歯排列の実際を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.総義歯臼歯部人工歯排列の要点を説明できる。 3.総義歯臼歯部人工歯排列の順番を説明できる。 4.総義歯臼歯部に付与する調節彎曲について説明できる。 5.総義歯臼歯部の人工歯排列を行うことができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：人工歯排列に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目（総義歯の人工歯排列） 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 ウ　技工操作 ｃ　人工歯の選択・排列・歯肉形成	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真 小林　久純

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/28（火） 4時限 14:50～16:20	【CD実-7】人工歯排列（前歯人工歯の排列・臼歯人工歯の排列）	【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑨人工歯の選択を説明できる。 ⑩可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真 小林　久純
2025/11/11（火） 2時限 10:40～12:10	【CD実-8】人工歯排列（臼歯人工歯の排列）	【授業の一般目標】 無歯顎患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、上下顎総義歯のフルバランスドオクルージョンに基づく人工歯排列の完成と適切な歯肉形態の付与に関する知識・技能・態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.総義歯の人工歯排列ができる。 3.総義歯の歯肉形成ができる。 4.総義歯のろう義歯の咬合調整ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：人工歯排列・歯肉形成・ろう義歯の試適に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目（総義歯の人工歯排列・歯肉形成） 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 ウ　技工操作 ｃ　人工歯の選択・排列・歯肉形成 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑨人工歯の選択を説明できる。 ⑩可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真
2025/11/11（火） 3時限 13:10～14:40	【CD実-8】人工歯排列（臼歯人工歯の排列）	【授業の一般目標】 無歯顎患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、上下顎総義歯のフルバランスドオクルージョンに基づく人工歯排列の完成と適切な歯肉形態の付与に関する知識・技能・態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.総義歯の人工歯排列ができる。 3.総義歯の歯肉形成ができる。 4.総義歯のろう義歯の咬合調整ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：人工歯排列・歯肉形成・ろう義歯の試適に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目（総義歯の人工歯排列・歯肉形成） 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/11/11（火） 3時限 13:10～14:40	【CD実-8】人工歯排列（臼歯人工歯の排列）	ウ　技工操作 ｃ　人工歯の選択・排列・歯肉形成 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑨人工歯の選択を説明できる。 ⑩可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真
2025/11/11（火） 4時限 14:50～16:20	【CD実-8】人工歯排列（臼歯人工歯の排列）	【授業の一般目標】 無歯顎患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、上下顎総義歯のフルバランスドオクルージョンに基づく人工歯排列の完成と適切な歯肉形態の付与に関する知識・技能・態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.総義歯の人工歯排列ができる。 3.総義歯の歯肉形成ができる。 4.総義歯のろう義歯の咬合調整ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：人工歯排列・歯肉形成・ろう義歯の試適に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目（総義歯の人工歯排列・歯肉形成） 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 ウ　技工操作 ｃ　人工歯の選択・排列・歯肉形成 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑨人工歯の選択を説明できる。 ⑩可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真
2025/11/18（火） 2時限 10:40～12:10	【有床-3】　全部床義歯と可撤性部分床義歯のろう義歯の試適，埋没・重合および咬合器再装着	【授業の一般目標】 部分歯列欠損および無歯顎患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、ろう義歯の試適、埋没および重合ならびに重合義歯の咬合器再装着に関する知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.ろう義歯試適時の診査項目を説明できる。 3.有床義歯の埋没操作法を列挙できる。 4.有床義歯のレジンの重合法を説明できる。 5.埋没からレジンの重合、取り出し、咬合器再装着までの流れを説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：無歯顎補綴治療学8章（P213-216）、9章（P217-228）、10章（P229-233）、歯学生のパーシャルデンチャー25章（P243-250） ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：ピア・インストラクション 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 イ　臨床操作	＊鈴木　亜沙子 ＊井上　正安

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/11/18（火） 2時限 10:40～12:10	【有床-3】 全部床義歯と可撤性部分床義歯のろう義歯の試適，埋没・重合および咬合器再装着	ｄ　ろう義歯の試適 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 イ　臨床操作 ｄ　試適（ろう義歯、フレームワーク） ｆ　埋没、重合 ｇ　咬合調整（削合）と仕上げ ５　全部床義歯による治療 ウ　技工操作 ｄ　埋没、重合 ｅ　咬合調整（削合）と仕上げ 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。	＊鈴木　亜沙子 ＊井上　正安
2025/11/18（火） 3時限 13:10～14:40	【CD実-9】歯肉形成・咬合器再装着の準備	【授業の一般目標】 無歯顎患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、上下顎無歯顎者に対する歯肉形成・咬合器再装着に関する知識・技能・態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.歯頸部の形態を付与することができる。 3.歯根部の形態を付与することができる。 4.床縁の形態を適切に付与することができる。 5.研磨面の形態を適切に付与することができる。 6.S字状隆起と口蓋皺壁を適切に付与することができる。 7.テンチのコア法による咬合器再装着が行える。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯肉形成・咬合器再装着に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり：反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目（総義歯の人工歯排列） 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 ウ　技工操作 ｃ　人工歯の選択・排列・歯肉形成 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑨人工歯の選択を説明できる。 ⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真
2025/11/18（火） 4時限 14:50～16:20	【CD実-9】歯肉形成・咬合器再装着の準備	【授業の一般目標】 無歯顎患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、上下顎無歯顎者に対する歯肉形成・咬合器再装着に関する知識・技能・態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.歯頸部の形態を付与することができる。 3.歯根部の形態を付与することができる。 4.床縁の形態を適切に付与することができる。 5.研磨面の形態を適切に付与することができる。 6.S字状隆起と口蓋皺壁を適切に付与することができる。 7.テンチのコア法による咬合器再装着が行える。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯肉形成・咬合器再装着に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり：反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目（総義歯の人工歯排列） 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/11/18（火） 4時限 14:50～16:20	【CD実-9】歯肉形成・咬合器再装着の準備	歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 ウ　技工操作 ｃ　人工歯の選択・排列・歯肉形成 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑨人工歯の選択を説明できる。 ⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真
2025/11/25（火） 2時限 10:40～12:10	有床義歯製作過程に関するグループ学修	【授業の一般目標】 部分歯列欠損および無歯顎患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、これまでに学修した内容（有床義歯の製作過程）の統合を行うために必要な知識・技術・態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.歯列欠損患者および無歯顎者の抱える問題点を考察できる。 3.有床義歯の製作過程を説明できる。 4.有床義歯の製作過程において必要な器具・材料を列挙できる。 5.有床義歯の設計の原則について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：これまでに講義・実習で学修した内容の確認、エキスパートグループにおける課題内容の確認 ・準備学修時間：６０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：グループ学修（エキスパートグループによるディスカッション） 【学修方略（ＬＳ）】 演習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ２　歯・歯周組織・咬合の治療 ア　基本的術式 ｄ　歯の欠如・欠損の治療 【コアカリキュラム】 Ａ　歯科医師として求められる基本的な資質・能力 Ａ－２　医学知識と問題対応能力 Ａ－２－１）　課題探求・解決能力 ①必要な課題を自ら発見できる。 ②自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる. ③課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 ④課題の解決に当たり、他の学習者や教員と協力してよりよい解決方法を見出すことができる。 ⑤適切な自己評価ができ、改善のための具体的方策を立てることができる。 Ａ－２－２）　学修の在り方 ①講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 ②得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真
2025/11/25（火） 3時限 13:10～14:40	【PD実-11】局部床義歯の顎間関係の記録・フェイスボウトランスファー・咬合器への付着 （A班：第2実習室） B班　演習（下顎運動・顆路角の調節）（10月14日3時限目を参照）	【授業の一般目標】 局部床義歯の適切な上下顎間関係の記録を行うために必要な咬合採得法とフェイスボウトランスファーと顎間関係記録に基づく正確な咬合器付着を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.咬合床を用いた局部床義歯の顎間関係記録ができる。 3.フェイスボウトランスファーができる。 4.作業用模型を咬合器に付着できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：フェイスボウトランスファー・顎間関係の記録・咬合器への付着に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目（フェイスボウトランスファー・顎間関係の記録・咬合器への付着） 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真 小林　久純 佐伯　啓行

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/11/25（火） 3時限 13:10～14:40	【PD実-11】局部床義歯の顎間関係の記録・フェイスボウトランスファー・咬合器への付着 （A班：第2実習室） B班　演習（下顎運動・顆路角の調節）（10月14日3時限目を参照）	201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 イ　臨床操作 ｃ　顎間関係の記録 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ウ　技工操作 ｂ　咬合器装着・調節 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑦歯の欠損した歯列での下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。 ⑧調節性咬合器の基本的操作方法、フェイスボウトランスファー、チェックバイト法を説明できる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真 小林　久純 佐伯　啓行
2025/11/25（火） 4時限 14:50～16:20	【PD実-11】局部床義歯の顎間関係の記録・フェイスボウトランスファー・咬合器への付着 （A班：第2実習室） B班　講義・実習の振り返り・ポートフォリオ記載 （10月14日4限参照）	【授業の一般目標】 局部床義歯の適切な上下顎間関係の記録を行うために必要な咬合採得法とフェイスボウトランスファーと顎間関係記録に基づく正確な咬合器付着を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.咬合床を用いた局部床義歯の顎間関係記録ができる。 3.フェイスボウトランスファーができる。 4.作業用模型を咬合器に付着できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：フェイスボウトランスファー・顎間関係の記録・咬合器への付着に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目（フェイスボウトランスファー・顎間関係の記録・咬合器への付着） 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 イ　臨床操作 ｃ　顎間関係の記録 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ウ　技工操作 ｂ　咬合器装着・調節 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑦歯の欠損した歯列での下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。 ⑧調節性咬合器の基本的操作方法、フェイスボウトランスファー、チェックバイト法を説明できる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真 小林　久純 佐伯　啓行
2025/12/02（火） 2時限 10:40～12:10	有床義歯製作過程に関するグループ学修	【授業の一般目標】 部分歯列欠損および無歯顎患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、これまでに学修した内容（有床義歯の製作過程）の統合を行うために必要な知識・技術・態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.歯列欠損患者および無歯顎者の抱える問題点を考察できる。 3.有床義歯の製作過程を説明できる。 4.有床義歯の製作過程において必要な器具・材料を列挙できる。 5.有床義歯の設計の原則について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：これまでに講義・実習で学修した内容の確認、エキスパートグループにおける課題内容の確認	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/12/02（火） 2時限 10:40～12:10	有床義歯製作過程に関するグループ学修	・準備学修時間：６０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：グループ学修（エキスパートグループによるディスカッション） 【学修方略（ＬＳ）】 演習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ２　歯・歯周組織・咬合の治療 ア　基本的術式 ｄ　歯の欠如・欠損の治療 【コアカリキュラム】 Ａ　歯科医師として求められる基本的な資質・能力 Ａ-２　医学知識と問題対応能力 Ａ-２-１）　課題探求・解決能力 ①必要な課題を自ら発見できる。 ②自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる. ③課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 ④課題の解決に当たり、他の学習者や教員と協力してよりよい解決方法を見出すことができる。 ⑤適切な自己評価ができ、改善のための具体的方策を立てることができる。 Ａ-２-２）　学修の在り方 ①講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 ②得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。	藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真
2025/12/02（火） 3時限 13:10～14:40	【PD実-12】人工歯排列・歯肉形成・スプルーイング）	【授業の一般目標】 部分歯列欠損患者に対して適切な補綴歯科治療が実施できるようになるために、局部床義歯の人工歯排列・歯肉形成に関する知識・技能・態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.局部床義歯の人工歯の排列ができる。 3.局部床義歯の歯肉形成ができる。 4.流し込みレジンのためのスプルーイングができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：人工歯排列・歯肉形成に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目（局部床義歯の人工歯排列・歯肉形成） 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ウ　技工操作 ｅ　人工歯の選択・排列・歯肉形成 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑨人工歯の選択を説明できる。 ⑩可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。 ⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真
2025/12/02（火） 4時限 14:50～16:20	【PD実-12】人工歯排列・歯肉形成・スプルーイング）	【授業の一般目標】 部分歯列欠損患者に対して適切な補綴歯科治療が実施できるようになるために、局部床義歯の人工歯排列・歯肉形成に関する知識・技能・態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.局部床義歯の人工歯の排列ができる。 3.局部床義歯の歯肉形成ができる。 4.流し込みレジンのためのスプルーイングができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：人工歯排列・歯肉形成に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：反転授業・実習	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/12/02（火） 4時限 14:50～16:20	【PD実-12】人工歯排列・歯肉形成・スプルーイング）	実習書、Youtubeの予習項目（局部床義歯の人工歯排列・歯肉形成） 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ウ　技工操作 ｅ　人工歯の選択・排列・歯肉形成 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑨人工歯の選択を説明できる。 ⑩可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。 ⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。	山崎　亜莉紗 連記　真
2025/12/09（火） 2時限 10:40～12:10	有床義歯製作過程に関するグループ発表・相互評価	【授業の一般目標】 有床義歯補綴装置の円滑な製作と装着後の問題点に対応できるようになるために必要な知識、技能と態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.有床義歯の製作過程を詳細に説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：これまでに講義・実習で学修した内容の確認、ジグソーグループにおける発表の準備 ・準備学修時間：６０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ３０１教室で問題解決型グループ学習およびまとめ発表（zoomまたはパワーポイントスライドを用いたポスターツアー形式） 【学修方略（ＬＳ）】 演習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ２　歯・歯周組織・咬合の治療 ア　基本的術式 ｄ　歯の欠如・欠損の治療 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。 ⑫可撤性義歯の製作過程を説明できる。 ⑬可撤性義歯の装着、調整を説明できる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真
2025/12/09（火） 3時限 13:10～14:40	咬合様式に関する模型演習 B班【有床実-1】 有床義歯の埋没・レジンの填入・重合（12月16日3・4時限目を参照）	【授業の一般目標】 無歯顎患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、総義歯の咬合様式を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.総義歯の咬合様式とその意義を説明できる。 3.両側性平衡咬合について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：講義内容（有床-1,2）の確認・復習 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：演習（体験学修） 【学修方略（ＬＳ）】 演習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 ウ　技工操作 ｅ　咬合調整（削合）と仕上げ	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真 ＊北村　彩 ＊木本　統

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/12/09（火） 3時限 13:10～14:40	咬合様式に関する模型演習 B班【有床実-1】 有床義歯の埋没・レジンの填入・重合（12月16日3・4時限目を参照）	【コアカリキュラム】 E　臨床歯学 E-3　歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4）　歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4）-（2）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑩可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真 ＊北村　彩 ＊木本　統
2025/12/09（火） 4時限 14:50～16:20	講義・実習の振り返り・ポートフォリオ記載（A班：201教室） B班【有床実-1】 有床義歯の埋没・レジンの填入・重合（12月16日3・4時限目を参照）	【授業の一般目標】 有床義歯補綴治療を常に記録し、振り返りを行い、これまでに学修した内容（人工歯排列・歯肉形成・ろう義歯の試適・咬合器再装着・埋没・重合）の統合を行うために必要な知識・技術・態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 人工歯排列について説明できる。 3. 歯肉形成について説明できる。 4. ろう義歯の試適について説明できる。 5. 義歯の埋没方法について説明できる。 6. 義歯床用レジンの填入・重合について説明できる。 7. 講義・実習を通じて学修した内容を振り返る事ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：これまでに講義・実習で学修した内容の確認 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり：ポートフォリオへの記載による振り返り、指導教員とのディスカッション 【学修方略（ＬＳ）】 演習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 ウ　技工操作 ｄ　埋没、重合 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 イ　臨床操作 ｄ　ろう義歯の試適 ｃ　人工歯の選択・排列・歯肉形成 ｅ　咬合調整（削合）と仕上げ 【コアカリキュラム】 A　歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-2　医学知識と問題対応能力 A-2-1）　課題探求・解決能力 ①必要な課題を自ら発見できる。 ②自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる. ③課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 ④課題の解決に当たり、他の学習者や教員と協力してよりよい解決方法を見出すことができる。 ⑤適切な自己評価ができ、改善のための具体的方策を立てることができる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真 ＊北村　彩 ＊木本　統
2025/12/16（火） 2時限 10:40～12:10	有床義歯製作過程に関するグループ発表・相互評価	【授業の一般目標】 有床義歯補綴装置の円滑な製作と装着後の問題点に対応できるようになるために必要な知識、技能と態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 有床義歯の製作過程を詳細に説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：これまでに講義・実習で学修した内容の確認、ジグソーグループにおける発表の準備 ・準備学修時間：６０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ３０１教室で問題解決型グループ学習およびまとめ発表（zoomまたはパワーポイントスライドを用いたポスターツアー形式）	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/12/16（火） 2時限 10:40～12:10	有床義歯製作過程に関するグループ発表・相互評価	【学修方略（ＬＳ）】 演習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ２　歯・歯周組織・咬合の治療 ア　基本的術式 ｄ　歯の欠如・欠損の治療 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。 ⑫可撤性義歯の製作過程を説明できる。 ⑬可撤性義歯の装着、調整を説明できる。	望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真
2025/12/16（火） 3時限 13:10～14:40	【有床実-1】有床義歯の埋没・レジンの填入・重合 （A班：第2実習室） B班：演習（咬合器再装着・埋没・重合）（12月9日3時限目を参照）	【授業の一般目標】 総義歯と局部床床義歯を製作するためにレジンの填入、重合を行うことができる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.加熱重合のためのフラスク埋没ができる。 3.流ろうができる。 4.加熱重合レジンの填入ができる。 5.加熱重合レジンの重合ができる。 6.流し込レジンの填入ができる。 7. 流し込みレジンの重合ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：ろう義歯の埋没・流ろう・レジン填入・重合に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目（埋没・流蝋・填入・重合） 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ウ　技工操作 ｆ　埋没、重合 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ウ　技工操作 ｇ　咬合調整（削合）と仕上げ ５　全部床義歯による治療 ウ　技工操作 ｄ　埋没、重合 ｅ　咬合調整（削合）と仕上げ 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真 飯塚　晃司 ＊北村　彩
2025/12/16（火） 4時限 14:50～16:20	【有床実-1】有床義歯の埋没・レジンの填入・重合 （A班：第2実習室） B班：講義・実習の振り返り・ポートフォリオ記載（12月9日4時限目を参照）	【授業の一般目標】 総義歯と局部床床義歯を製作するためにレジンの填入、重合を行うことができる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.加熱重合のためのフラスク埋没ができる。 3.流ろうができる。 4.加熱重合レジンの填入ができる。 5.加熱重合レジンの重合ができる。 6.流し込レジンの填入ができる。 7. 流し込みレジンの重合ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：ろう義歯の埋没・流ろう・レジン填入・重合に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：反転授業・実習	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/12/16（火） 4時限 14:50～16:20	【有床実-1】有床義歯の埋没・レジンの填入・重合 （A班：第2実習室） B班：講義・実習の振り返り・ポートフォリオ記載 （12月9日4時限目を参照）	実習書、Youtubeの予習項目（埋没・流蝋・填入・重合） 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ウ　技工操作 ｆ　埋没、重合 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ウ　技工操作 ｇ　咬合調整（削合）と仕上げ ５　全部床義歯による治療 ウ　技工操作 ｄ　埋没、重合 ｅ　咬合調整（削合）と仕上げ 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。	飯塚　晃司 ＊北村　彩
2025/12/23（火） 2時限 10:40～12:10	【有床-4】　総義歯と局部床義歯の装着：調整・指導・効果	【授業の一般目標】 有床義歯補綴装置を装着および調整するにあたり必要な主訴に対する検査項目、検査法および対処に関する臨床的な知識および技能を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.完成義歯の検査材料を述べることができる。 3.咬合検査の方法を述べることができる。 4.完成義歯の装着時の診察項目を列挙できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目： 無歯顎補綴治療学：11章（P234-243）、12章（P244-262）、歯学生のパーシャルデンチャー：26章（P251-258）、27章（P259-262）、28章（P263-273） ・準備学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり：ピアインストラクション、場合により資料事前配布、反転授業を検討 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 イ　臨床操作 ｅ　装着 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 イ　臨床操作 ｅ　装着 ８　指導と管理 ア　口腔衛生指導 イ　補綴装置に対する指導 ウ　口腔機能向上に関する指導 ａ　セルフケア（ホームケア）、プロフェッショナルケア カ　治療効果の評価 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑬可撤性義歯の装着、調整を説明できる。 ⑭可撤性義歯のメインテナンス、リライン及び修理を説明できる。	＊小出　恭代
2025/12/23（火） 3時限 13:10～14:40	【有床実-2】義歯の掘り出し・研磨	【授業の一般目標】 部分歯列欠損および無歯顎患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、レジン重合後の総義歯と局部床義歯ので安全なフラスキングおよび適切な研磨法に関する知識・技能・態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 加熱重合レジンの取り出しと研磨ができる。 3. 流し込みレジンの取り出しと研磨ができる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/12/23（火） 3時限 13:10～14:40	【有床実-2】義歯の掘り出し・研磨	【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：義歯の堀り出し・研磨に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目（掘り出し・研磨） 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 ウ　技工操作 ｅ　咬合調整（削合）と仕上げ 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ウ　技工操作 ｇ　咬合調整（削合）と仕上げ 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。	＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真 小林　久純 水戸部　京子
2025/12/23（火） 4時限 14:50～16:20	【有床実-2】義歯の掘り出し・研磨	【授業の一般目標】 部分歯列欠損および無歯顎患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、レジン重合後の総義歯と局部床義歯ので安全なフラスキングおよび適切な研磨法に関する知識・技能・態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2. 加熱重合レジンの取り出しと研磨ができる。 3. 流し込みレジンの取り出しと研磨ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：義歯の堀り出し・研磨に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目（掘り出し・研磨） 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 ウ　技工操作 ｅ　咬合調整（削合）と仕上げ 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ウ　技工操作 ｇ　咬合調整（削合）と仕上げ 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真 小林　久純 水戸部　京子
2026/01/13（火） 2時限 10:40～12:10	【有床-5】 総義歯と局部床義歯の装着後の経過観察：変化・評価・修理・リライン	【授業の一般目標】 有床義歯補綴装置を装着および調整するにあたり必要な主訴に対する検査項目、検査法および対処に関する臨床的な知識および技能を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.義歯装着後の生体の変化を説明できる。 3.義歯装着後の義歯の変化を説明できる。 4.定期検査の重要性を説明できる。 5.残存組織の変化への対応を説明できる。 6.義歯の修理方法を述べることができる。 7.リラインとリベースの違いを述べることができる。 8.リラインの適応症を述べることができる。	＊小出　恭代

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/01/13（火） 2時限 10:40～12:10	【有床-5】 総義歯と局部床義歯の装着後の経過観察 ：変化・評価・修理・リライン	【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目： 無歯顎補綴治療学：11章（P234-243）、12章（P244-262）、歯学生のパーシャルデンチャー：26章（P251-258）、27章（P259-262）、28章（P263-273） ・準備学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり：ピアインストラクション、場合により資料事前配布、反転授業を検討 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ８　指導と管理 オ　リコールとメインテナンス ｂ　残存組織の変化とその対応 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ８　指導と管理 オ　リコールとメインテナンス ｃ　咬合の変化とその対応 ｄ　機能低下とその対応 ｅ　補綴装置の破損とその対応 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑬可撤性義歯の装着、調整を説明できる。 ⑭可撤性義歯のメインテナンス、リライン及び修理を説明できる。	＊小出　恭代
2026/01/13（火） 3時限 13:10～14:40	【有床実-3】完成義歯の口腔内試適・咬合器再装着と削合・装着	【授業の一般目標】 部分歯列欠損および無歯顎患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、完成した総義歯と局部床義歯の装着時の調整方法に関する知識・技能・態度について修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.総義歯の口腔内試適ができる。 3.局部床義歯の口腔内試適ができる。 4.総義歯の咬合器再装着が行える。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：義肢の装着と調整に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目（口腔内装着・咬合器再装着） 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 イ　臨床操作 ｅ　装着 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 イ　臨床操作 ｅ　装着 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。 ⑭可撤性義歯のメインテナンス、リライン及び修理を説明できる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真
2026/01/13（火） 4時限 14:50～16:20	【有床実-3】完成義歯の口腔内試適・咬合器再装着と削合・装着	【授業の一般目標】 部分歯列欠損および無歯顎患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、完成した総義歯と局部床義歯の装着時の調整方法に関する知識・技能・態度について修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/01/13（火） 4時限 14:50～16:20	【有床実-3】完成義歯の口腔内試適・咬合器再装着と削合・装着	2.総義歯の口腔内試適ができる。 3.局部床義歯の口腔内試適ができる。 4.総義歯の咬合器再装着が行える。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：義肢の装着と調整に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目（口腔内装着・咬合器再装着） 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 イ　臨床操作 ｅ　装着 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 イ　臨床操作 ｅ　装着 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。 ⑭可撤性義歯のメインテナンス、リライン及び修理を説明できる。	＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真
2026/01/20（火） 2時限 10:40～12:10	【平常試験⑤（有床）】（10:40～11:30） 11:30～　平常試験⑤解説・振り返り	【授業の一般目標】 患者の治療を自立して行うために必要な補綴学の基本的な知識、技能および態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.無歯顎の顎間関係の記録について説明できる。 2.無歯顎の下顎運動の記録について説明できる。 3.局部床義歯のフレームワーク試適・オルタードキャスト法について説明できる。 4.局部床義歯の顎間関係の記録について説明できる。 5.人工歯選択と咬合様式・咬合平衡について説明できる。 6.人工歯排列について説明できる。 7.ろう義歯の試適から埋没・重合・咬合器再装着への流れを説明できる。 8.有床義歯の装着と調整について説明できる。 9.有床義歯装着後の経過および対応について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 範囲：CD4-5, PD9-10, 有床1-5, MCQ 45問 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ２　歯・歯周組織・咬合の治療 ア　基本的術式 ｄ　歯の欠如・欠損の治療 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑦歯の欠損した歯列での下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。 ⑧調節性咬合器の基本的操作方法、フェイスボウトランスファー、チェックバイト法を説明できる。 ⑨人工歯の選択を説明できる。 ⑩可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。 ⑫可撤性義歯の製作過程を説明できる。 ⑬可撤性義歯の装着、調整を説明できる。	＊小川　晃奈 ＊五十嵐　憲太郎 ＊伊藤　誠康 ＊井上　正安 ＊石井　智浩 ＊鈴木　亜沙子 ＊小出　恭代
2026/01/20（火） 3時限 13:10～14:40	【有床実-3】完成義歯の口腔内試適・咬合器再装着と削合・装着	【授業の一般目標】 部分歯列欠損および無歯顎患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、完成した総義歯と局部床義歯の装着時の調整方法に関する知識・技能・態度について修得する。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/01/20（火） 3時限 13:10～14:40	【有床実-3】完成義歯の口腔内試適・咬合器再装着と削合・装着	【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.総義歯の口腔内試適ができる。 3.局部床義歯の口腔内試適ができる。 4.総義歯の咬合器再装着が行える。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：義肢の装着と調整に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目（口腔内装着・咬合器再装着） 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 イ　臨床操作 ｅ　装着 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 イ　臨床操作 ｅ　装着 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。 ⑭可撤性義歯のメインテナンス、リライン及び修理を説明できる。	＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真 小林　久純 小倉　京子 諏訪　武利 真辺　剛史 今道　靖子
2026/01/20（火） 4時限 14:50～16:20	【有床実-3】完成義歯の口腔内試適・咬合器再装着と削合・装着	【授業の一般目標】 部分歯列欠損および無歯顎患者に適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、完成した総義歯と局部床義歯の装着時の調整方法に関する知識・技能・態度について修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき下記の内容を教授する。 2.総義歯の口腔内試適ができる。 3.局部床義歯の口腔内試適ができる。 4.総義歯の咬合器再装着が行える。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：義肢の装着と調整に関する講義内容、実習書および予習動画の確認、予習項目のポートフォリオへの記載 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：反転授業・実習 実習書、Youtubeの予習項目（口腔内装着・咬合器再装着） 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 イ　臨床操作 ｅ　装着 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 イ　臨床操作 ｅ　装着 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（２）　可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。 ⑭可撤性義歯のメインテナンス、リライン及び修理を説明できる。	＊伊藤　誠康 ＊石井　智浩 ＊五十嵐　憲太郎 ＊大久保　昌和 ＊鈴木　亜沙子 ＊中田　浩史 ＊井上　正安 ＊小川　晃奈 ＊小出　恭代 ＊木村　純 ＊古賀　麻奈花 櫻井　萌絵 ＊佐藤　佳奈美 髙野　光司 樽川　禅 野口　奈保子 藤井　あゆ 望月　麻央 山崎　亜莉紗 連記　真 小林　久純 小倉　京子 諏訪　武利 真辺　剛史 今道　靖子

クラウンブリッジ補綴学

年次	学期	学修ユニット責任者
3年次	通年	＊小見山　道（顎口腔機能補綴学）

学修ユニット学修目標（ＧＩＯ）	適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画及び処置が行えるために必要な補綴学に関する知識・技能および態度を修得する。
担当教員	＊小見山　道、＊小林　平、＊若見　昌信、＊鈴木　浩司、＊飯田　崇、＊淺野　隆、＊内堀　聡史、※＊岩田　好弘、＊岩﨑　正敏、＊三浦　千晶、＊生田　真衣、＊石井　優貴、＊吉田　一央、＊柳園　佑奈、＊山田　優太、＊芦田　悠作、青野　寛史、※浅川　龍人、※池田　紗由美、※大野　清美、＊大村　祐史、桂　裕名、※小林　紀彦、※小日向　宏、※薦田　祥博、澤　ありさ、※澁谷　智明、※髙橋　徹也、※谷村　秀樹、※手代木　一人、※二瓶　仁、柘植　琢磨、早川　英利、＊増田　学、＊安田　明弘、山田　久絵、※渡辺　官、中山　敏行
教科書	クラウンブリッジ補綴学　第6版　矢谷博文他　医歯薬出版株式会社
評価方法（ＥＶ）	平常試験（平常試験①～⑤：有床義歯３回、クラウンブリッジ2回の平均：50%），実習（補綴学導入・有床義歯補綴学・クラウン補綴学における実習評価，（実技試験およびグループワーク、ポートフォリオ等の評価を含む）：50%）を最終評価とする。ただし、講義・実習それぞれ１／５以上欠席した場合，評価点は６０点未満とする。また，講義・実習いずれかが合格点に達しない場合，評価点は６０点未満とする。なお，平常試験の再試験は行わない。
学生へのメッセージ オフィスアワー	【クラウンブリッジ補綴学講義】 　歯冠架工義歯補綴は臨床で最も多く行われる治療の1つである。講義内容も非常に多いので復習を十分に行うこと。また，不明な点があれば必ず質問し，疑問をもったまま次回の講義に臨まないように心がけて欲しい。全部鋳造冠の製作法を通じて，適合の良い歯冠補綴装置を製作するための理論を学 び，さらに生体に調和した補綴装置とはいかなるものであるかを習得する。これらを習得するためには口腔内のみならず，口腔周囲組織の生理学的および解剖学的知識ならびに歯科用材料の諸性質を理解する必要がある。 【クラウンブリッジ補綴学実習】 講義を基に，歯冠架工義歯補綴学の実習を通して歯科材料の基礎理論を背景とした材料の応用，正しいインスツルメントの取り扱い方法および臨床に応用できる技術を習得することを目標に段階的に実習を行う。全部鋳造冠の作製過程および手技を学習し，臨床に応用可能な製作物を作製できる能力を養う。実習で身につけた技術は，歯科医として将来必ず役立つものであるので，進んで学習し実習を行うこと。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/09/12（金） 2時限 10:40～12:10	クラウンブリッジ補綴学の意義と目的 クラウンブリッジの臨床成績 クラウンブリッジの要件 クラウンの種類	【授業の一般目標】 クラウンブリッジ補綴学の定義と意義を理解する。 クラウンブリッジの生存率，治療失敗に関連するリスク因子について理解する。 クラウンブリッジの要件について理解する。 クラウンの種類と特徴，適応症について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. クラウンブリッジ補綴学の定義と意義を説明できる。 3. クラウンブリッジの生存率，治療失敗に関連するリスク因子を説明できる。 4. クラウンブリッジの要件を説明できる。 5. クラウンの種類と特徴，適応症を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間：90分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア，配付プリント，教科書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 １　病態 ア　咬合・咀嚼障害 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（１）　クラウンブリッジによる治療 ①クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法（CAD/CAM を含む）を説明できる。 ①クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法（CAD/CAM を含む）を説明できる。	＊小見山　道 ＊若見　昌信 ＊飯田　崇 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/09/12（金） 3時限 13:10～14:40	咬合・歯周組織の正常像と咬合異常・咀嚼障害	【授業の一般目標】 種々の下顎位について理解する。 下顎運動範囲と基本的な下顎運動について理解する。 咬合異常・咀嚼障害の病因，病態，症状，徴候について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 種々の下顎位について説明できる。 3. 下顎運動範囲と基本的な下顎運動について説明できる。 4. 咬合異常・咀嚼障害の病因，病態，症状，徴候を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間：90分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア，配付プリント，教科書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ２　診察、検査、診断 ア　診察 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ−２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ−２−１）　頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。	＊小見山　道 ＊若見　昌信 ＊飯田　崇 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘
2025/09/12（金） 4時限 14:50～16:20	器具の配布 研究用模型の製作	【授業の一般目標】 クラウンブリッジ実習に必要な器具の名称を列挙する。 適切な既製トレーの選択ができる。 適切な予備印象採得を行うことができる。 適切な研究用模型を製作することができる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. クラウンブリッジ実習に必要な器具の名称を列挙できる。 2. 適切な既製トレーの選択ができる。 3. 適切な予備印象採得を行うことができる。 4. 適切な研究用模型を製作することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 授業項目に該当する実習書の範囲を熟読する。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有：実習 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 ウ　技工操作 ａ　ロストワックス法による製作 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ−３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ−３−４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ−３−４）−（１）　クラウンブリッジによる治療 ⑨研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。 Ｄ　歯科医療機器（歯科材料・器械・器具） Ｄ−２　歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 Ｄ−１　歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の特性と用途 ③診療用器械・器具の構造と特性を説明できる。	＊小見山　道 ＊小林　平 ＊若見　昌信 ＊鈴木　浩司 ＊飯田　崇 ＊淺野　隆 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘 ＊岩﨑　正敏 ＊三浦　千晶 ＊生田　真衣 ＊石井　優貴 ＊吉田　一央 ＊柳園　佑奈 ＊山田　優太 ＊芦田　悠作 青野　寛史 浅川　龍人 池田　紗由美 大野　清美 ＊大村　祐史 澤　ありさ 澁谷　智明 髙橋　徹也 谷村　秀樹 手代木　一人 柘植　琢磨 ＊安田　明弘 山田　久絵 渡辺　官 中山　敏行
2025/09/19（金） 2時限 10:40～12:10	インフォームドコンセント 前処置 支台歯形成	【授業の一般目標】 インフォームドコンセントの基本的理念，治療の選択に影響する因子を理解する。 クラウンブリッジ治療に先立ち実施する前処置の意義，種類，内容について理解する。 支台歯形成の目的と原則，歯頚部辺縁形態の分類と適応，支台歯形成の手順，注意点を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. インフォームドコンセントの基本的理念，治療の選択に影響する因子を説明できる。 3. クラウンブリッジ治療に先立ち実施する前処置の意義，種類，内容を説明できる。	＊小見山　道 ＊若見　昌信 ＊飯田　崇 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/09/19（金） 2時限 10:40～12:10	インフォームドコンセント 前処置 支台歯形成	4. 支台歯形成の目的と原則，歯頚部辺縁形態の分類と適応，支台歯形成の手順，注意点を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間：90分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア，配付プリント，教科書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 イ　臨床操作 ｂ　支台歯形成 【コアカリキュラム】 Ｆ　シミュレーション実習（模型実習・相互演習（実習）） Ｆ－３　基本的臨床技能 Ｆ－３－４）　歯質と歯の欠損の治療 ③クラウンブリッジによる補綴治療の書く基本的操作を実施できる。 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（１）　クラウンブリッジによる治療 ④支台歯形成の意義と方法を説明できる。	＊小見山　道 ＊若見　昌信 ＊飯田　崇 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘
2025/09/19（金） 3時限 13:10～14:40	支台歯形成	【授業の一般目標】 適切なハンドピースの操作ができる 適切な支台歯形成にためのバーの選択ができる。 各種クラウンに適した支台歯形成ができる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 適切なハンドピースの操作をする。 2. 適切な支台歯形成のためのバーの選択を行う。 3. クラウンの支台歯形成の手順を学ぶ。 【準備学修項目と準備学修時間】 適切なハンドピースの操作ができる。 適切な支台歯形成を行うためのバーの選択ができる。 各種クラウンに適した支台歯形成の手順を学ぶ。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 イ　臨床操作 ｂ　支台歯形成 【コアカリキュラム】 Ｇ　臨床実習 Ｇ－３　基本的臨床技能 ⑦歯質の欠損に対する歯冠補綴治療ができる。	＊小見山　道 ＊小林　平 ＊若見　昌信 ＊鈴木　浩司 ＊飯田　崇 ＊淺野　隆 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘 ＊岩﨑　正敏 ＊三浦　千晶 ＊生田　真衣 ＊石井　優貴 ＊吉田　一央 ＊柳園　佑奈 ＊山田　優太 ＊芦田　悠作 金谷　日出夫 髙橋　徹也 柘植　琢磨 ＊安田　明弘
2025/09/19（金） 4時限 14:50～16:20	支台歯形成	【授業の一般目標】 適切なハンドピースの操作ができる 適切な支台歯形成にためのバーの選択ができる。 各種クラウンに適した支台歯形成ができる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 適切なハンドピースの操作をする。 2. 適切な支台歯形成のためのバーの選択を行う。 3. クラウンの支台歯形成の手順を学ぶ。 【準備学修項目と準備学修時間】 適切なハンドピースの操作ができる。 適切な支台歯形成を行うためのバーの選択ができる。 各種クラウンに適した支台歯形成の手順を学ぶ。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室	＊小見山　道 ＊小林　平 ＊若見　昌信 ＊鈴木　浩司 ＊飯田　崇 ＊淺野　隆 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘 ＊岩﨑　正敏 ＊三浦　千晶 ＊生田　真衣 ＊石井　優貴 ＊吉田　一央 ＊柳園　佑奈 ＊山田　優太 ＊芦田　悠作 金谷　日出夫 髙橋　徹也 柘植　琢磨 ＊安田　明弘

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/09/19（金） 4時限 14:50～16:20	支台歯形成	【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 イ　臨床操作 ｂ　支台歯形成 【コアカリキュラム】 Ｇ　臨床実習 Ｇ－３　基本的臨床技能 ⑦歯質の欠損に対する歯冠補綴治療ができる。	＊小見山　道 ＊小林　平 ＊若見　昌信 ＊鈴木　浩司 ＊飯田　崇 ＊淺野　隆 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘 ＊岩﨑　正敏 ＊三浦　千晶 ＊生田　真衣 ＊石井　優貴 ＊吉田　一央 ＊柳園　佑奈 ＊山田　優太 ＊芦田　悠作 金谷　日出夫 髙橋　徹也 柘植　琢磨 ＊安田　明弘
2025/09/26（金） 2時限 10:40～12:10	印象採得 プロビジョナルレストレーション	【授業の一般目標】 印象材の種類と特徴を理解する。 印象用器材，印象法の種類と特徴について理解する。 歯肉圧排の目的と方法について理解する。 プロビジョナルレストレーションの臨床的意義を理解する。 プロビジョナルレストレーションの種類と制作方法を理解する。 仮着用セメントの種類と特徴を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 印象材の種類と特徴を説明できる。 3. 印象用器材，印象法の種類と特徴を説明できる。 4. 歯肉圧排の目的と方法について説明できる。 5. プロビジョナルレストレーションの臨床的意義を説明できる。 6. プロビジョナルレストレーションの種類と制作方法を説明できる。 7. 仮着用セメントの種類と特徴を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間：90分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア，配付プリント，教科書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 イ　臨床操作 ｄ　印象採得 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（１）　クラウンブリッジによる治療 ⑤クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑦プロビジョナルレストレーションの意義とその製作法を説明できる。	＊小見山　道 ＊若見　昌信 ＊飯田　崇 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘
2025/09/26（金） 3時限 13:10～14:40	プロビジョナルレストレーションの製作	【授業の一般目標】 プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料，器具およびそれらの使用法を習得する。 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作ができる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料，器具およびそれらの使用法を習得する。 2. 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料，器具およびそれらの使用法を学ぶ。 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作するための歯の解剖学について復習する。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害	＊小見山　道 ＊小林　平 ＊若見　昌信 ＊鈴木　浩司 ＊飯田　崇 ＊淺野　隆 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘 ＊岩﨑　正敏 ＊三浦　千晶 ＊生田　真衣 ＊石井　優貴 ＊吉田　一央 ＊柳園　佑奈 ＊山田　優太 ＊芦田　悠作 髙橋　徹也 ＊安田　明弘

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/09/26（金） 3時限 13:10～14:40	プロビジョナルレストレーションの製作	３　クラウンブリッジによる治療 イ　臨床操作 ｅ　プロビジョナルレストレーション 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（１）　クラウンブリッジによる治療 ⑦プロビジョナルレストレーションの意義とその製作法を説明できる。	＊小見山　道 ＊小林　平 ＊若見　昌信 ＊鈴木　浩司 ＊飯田　崇 ＊淺野　隆 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘 ＊岩﨑　正敏 ＊三浦　千晶 ＊生田　真衣 ＊石井　優貴 ＊吉田　一央 ＊柳園　佑奈 ＊山田　優太 ＊芦田　悠作 髙橋　徹也 ＊安田　明弘
2025/09/26（金） 4時限 14:50～16:20	プロビジョナルレストレーションの製作	【授業の一般目標】 プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料，器具およびそれらの使用法を習得する。 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作ができる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料，器具およびそれらの使用法を習得する。 2.歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料，器具およびそれらの使用法を学ぶ。 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作するための歯の解剖学について復習する。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 イ　臨床操作 ｅ　プロビジョナルレストレーション 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（１）　クラウンブリッジによる治療 ⑦プロビジョナルレストレーションの意義とその製作法を説明できる。	＊小見山　道 ＊小林　平 ＊若見　昌信 ＊鈴木　浩司 ＊飯田　崇 ＊淺野　隆 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘 ＊岩﨑　正敏 ＊三浦　千晶 ＊生田　真衣 ＊石井　優貴 ＊吉田　一央 ＊柳園　佑奈 ＊山田　優太 ＊芦田　悠作 髙橋　徹也 ＊安田　明弘
2025/10/03（金） 2時限 10:40～12:10	診察・診断と感染予防 治療計画を左右する因子	【授業の一般目標】 各種検査の意義と内容を理解する。 顎機能・咬合ならびに支台歯の評価・臨床診断について理解する。 感染予防の基本的な考え方と補綴歯科治療における対策を理解する。 治療計画を左右する因子について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.各種検査の意義と内容を説明できる。 3.顎機能・咬合ならびに支台歯の評価・臨床診断を説明できる。 4.感染予防の基本的な考え方と補綴歯科治療における対策について説明できる。 5.治療計画を左右する因子について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間：90分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア，配付プリント，教科書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ２　診察、検査、診断 エ　治療計画の立案 【コアカリキュラム】 Ｆ　シミュレーション実習（模型実習・相互演習（実習）） Ｆ－３　基本的臨床技能 Ｆ－３－４）　歯質と歯の欠損の治療 ①補綴治療に必要な診断情報の収集し、それにもとづく治療計画と装置の設計	＊小見山　道 ＊若見　昌信 ＊飯田　崇 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/03（金） 2時限 10:40～12:10	診察・診断と感染予防 治療計画を左右する因子	ができる。 E　臨床歯学 E-1　診療の基本 E-1-1）　診察の基本 ⑦問題志向型診療記録(problem-oriented medical record <POMR>)を説明できる	＊小見山　道 ＊若見　昌信 ＊飯田　崇 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘
2025/10/03（金） 3時限 13:10～14:40	個人トレーの製作 精密印象採得 作業模型の製作	【授業の一般目標】 個人トレー製作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 適切な個人トレーの製作ができる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.個人トレー製作に必要な器具および材料を適切に使用する。 2.適切な個人トレーを製作する。 【準備学修項目と準備学修時間】 適切な個人トレー製作に必要な知識，器具および材料を確認する。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 イ　臨床操作 ｄ　印象採得 【コアカリキュラム】 E　臨床歯学 E-3　歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4）　歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4）-（1）　クラウンブリッジによる治療 ⑤クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑨研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。	＊小見山　道 ＊小林　平 ＊若見　昌信 ＊鈴木　浩司 ＊飯田　崇 ＊淺野　隆 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘 ＊岩﨑　正敏 ＊三浦　千晶 ＊生田　真衣 ＊石井　優貴 ＊吉田　一央 ＊柳園　佑奈 ＊山田　優太 ＊芦田　悠作 金谷　日出夫 小林　紀彦 小日向　宏 髙橋　徹也 谷村　秀樹 早川　英利 ＊安田　明弘
2025/10/03（金） 4時限 14:50～16:20	個人トレーの製作 精密印象採得 作業模型の製作	【授業の一般目標】 個人トレー製作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 適切な個人トレーの製作ができる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.個人トレー製作に必要な器具および材料を適切に使用する。 2.適切な個人トレーを製作する。 【準備学修項目と準備学修時間】 適切な個人トレー製作に必要な知識，器具および材料を確認する。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 イ　臨床操作 ｄ　印象採得 【コアカリキュラム】 E　臨床歯学 E-3　歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4）　歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4）-（1）　クラウンブリッジによる治療 ⑤クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑨研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。	＊小見山　道 ＊小林　平 ＊若見　昌信 ＊鈴木　浩司 ＊飯田　崇 ＊淺野　隆 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘 ＊岩﨑　正敏 ＊三浦　千晶 ＊生田　真衣 ＊石井　優貴 ＊吉田　一央 ＊柳園　佑奈 ＊山田　優太 ＊芦田　悠作 金谷　日出夫 小林　紀彦 小日向　宏 髙橋　徹也 谷村　秀樹 早川　英利 ＊安田　明弘
2025/10/10（金） 2時限 10:40～12:10	顎間関係の記録（咬合採得） 患者情報の記録と伝達	【授業の一般目標】 顎間関係の記録（咬合採得）の意義について理解する。 咬合採得する下顎位と咬合採得法について理解する。 咬合支持に応じた咬合採得法について理解する。 口腔内情報を記録する意義について理解する。 色調の選択と伝達方法について理解する。 歯の位置と形態の記録法について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.顎間関係の記録（咬合採得）の意義について説明できる。 3.咬合採得する下顎位と咬合採得法について説明できる。 4.咬合支持に応じた咬合採得法について説明できる。 5.口腔内情報を記録する意義について説明できる。 6.色調の選択と伝達方法について説明できる。 7.歯の位置と形態の記録法について説明できる。	＊小見山　道 ＊若見　昌信 ＊飯田　崇 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/10（金） 2時限 10:40～12:10	顎間関係の記録 （咬合採得） 患者情報の記録と伝達	【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間：90分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア，配付プリント，教科書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 イ　臨床操作 ｆ　顎間関係の記録 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（１）　クラウンブリッジによる治療 ⑤クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑥色調選択（シェードテイキング）を説明できる。	＊小見山　道 ＊若見　昌信 ＊飯田　崇 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘
2025/10/10（金） 3時限 13:10～14:40	個人トレーの製作 精密印象採得 作業模型の製作	【授業の一般目標】 個人トレー製作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 適切な個人トレーの製作ができる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 個人トレー製作に必要な器具および材料を適切に使用する。 2. 適切な個人トレーを製作する。 【準備学修項目と準備学修時間】 適切な個人トレー製作に必要な知識，器具および材料を確認する。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 ウ　技工操作 ａ　ロストワックス法による製作 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（１）　クラウンブリッジによる治療 ⑤クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑨研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。	＊小見山　道 ＊小林　平 ＊若見　昌信 ＊鈴木　浩司 ＊飯田　崇 ＊淺野　隆 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘 ＊岩﨑　正敏 ＊三浦　千晶 ＊生田　真衣 ＊石井　優貴 ＊吉田　一央 ＊柳園　佑奈 ＊山田　優太 ＊芦田　悠作 髙橋　徹也 二瓶　仁 ＊安田　明弘
2025/10/10（金） 4時限 14:50～16:20	個人トレーの製作 精密印象採得 作業模型の製作	【授業の一般目標】 個人トレー製作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 適切な個人トレーの製作ができる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 個人トレー製作に必要な器具および材料を適切に使用する。 2. 適切な個人トレーを製作する。 【準備学修項目と準備学修時間】 適切な個人トレー製作に必要な知識，器具および材料を確認する。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 ウ　技工操作 ａ　ロストワックス法による製作 【コアカリキュラム】	＊小見山　道 ＊小林　平 ＊若見　昌信 ＊鈴木　浩司 ＊飯田　崇 ＊淺野　隆 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘 ＊岩﨑　正敏 ＊三浦　千晶 ＊生田　真衣 ＊石井　優貴 ＊吉田　一央 ＊柳園　佑奈 ＊山田　優太 ＊芦田　悠作 髙橋　徹也 二瓶　仁 ＊安田　明弘

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/10（金） 4時限 14:50～16:20	個人トレーの製作 精密印象採得 作業模型の製作	E　臨床歯学 E-3　歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4）　歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4）-（1）　クラウンブリッジによる治療 ⑤クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑨研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。	＊小見山　道 ＊小林　平 ＊若見　昌信 ＊鈴木　浩司 ＊飯田　崇 ＊淺野　隆 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘 ＊岩﨑　正敏 ＊三浦　千晶 ＊生田　真衣 ＊石井　優貴 ＊吉田　一央 ＊柳園　佑奈 ＊山田　優太 ＊芦田　悠作 髙橋　徹也 二瓶　仁 ＊安田　明弘
2025/10/17（金） 2時限 10:40～12:10	作業模型の製作 ワックスパターン形成	【授業の一般目標】 作業用模型の構成と要件を理解する。 模型材の種類と性質を理解する。 作業用模型の種類と特徴を理解する。 ワックスの種類と要件，取り扱い方法について理解する。 ワックスアップの方法と注意事項を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 作業用模型の構成と要件を説明できる。 3. 模型材の種類と性質を説明できる。 4. 作業用模型の種類と特徴を説明できる。 5. ワックスの種類と要件，取り扱い方法を説明できる。 6. ワックスアップの方法と注意事項を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間：90分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア，配付プリント，教科書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 ウ　技工操作 ａ　ロストワックス法による製作 【コアカリキュラム】 E　臨床歯学 E-3　歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4）　歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4）-（1）　クラウンブリッジによる治療 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 ⑨研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。	＊小見山　道 ＊若見　昌信 ＊飯田　崇 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘
2025/10/17（金） 3時限 13:10～14:40	作業模型の咬合器付着 歯型の調整	【授業の一般目標】 正確な作業模型を製作することができる。 作業模型製作に必要な器具，材料を適切に使用できる。 作業模型を正確に咬合器に付着できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 正確な作業模型製作のための理論と注意点を説明できる。 2. 作業模型製作に必要な器具，材料を説明できる。 3. 作業模型を正確に咬合器に付着するための方法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 正確な作業模型製作のための要件について学ぶ。 作業模型製作に必要な器具，材料について学ぶ。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 ウ　技工操作 ａ　ロストワックス法による製作 【コアカリキュラム】 E　臨床歯学	＊小見山　道 ＊小林　平 ＊若見　昌信 ＊鈴木　浩司 ＊飯田　崇 ＊淺野　隆 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘 ＊岩﨑　正敏 ＊三浦　千晶 ＊生田　真衣 ＊石井　優貴 ＊吉田　一央 ＊柳園　佑奈 ＊山田　優太 ＊芦田　悠作 金谷　日出夫 髙橋　徹也 ＊安田　明弘

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/17（金） 3時限 13:10～14:40	作業模型の咬合器付着 歯型の調整	E-3　歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4）　歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4）-（1）　クラウンブリッジによる治療 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 ⑨研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。 ⑩平均値咬合器及び調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。	＊小見山　道 ＊小林　平 ＊若見　昌信 ＊鈴木　浩司 ＊飯田　崇 ＊淺野　隆 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘 ＊岩﨑　正敏 ＊三浦　千晶 ＊生田　真衣 ＊石井　優貴 ＊吉田　一央 ＊柳園　佑奈 ＊山田　優太 ＊芦田　悠作 金谷　日出夫 髙橋　徹也 ＊安田　明弘
2025/10/17（金） 4時限 14:50～16:20	作業模型の咬合器付着 歯型の調整	【授業の一般目標】 正確な作業模型を製作することができる。 作業模型製作に必要な器具，材料を適切に使用できる。 作業模型を正確に咬合器に付着できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 正確な作業模型製作のための理論と注意点を説明できる。 2. 作業模型製作に必要な器具，材料を説明できる。 3. 作業模型を正確に咬合器に付着するための方法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 正確な作業模型製作のための要件について学ぶ。 作業模型製作に必要な器具，材料について学ぶ。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 ウ　技工操作 ａ　ロストワックス法による製作 【コアカリキュラム】 E　臨床歯学 E-3　歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4）　歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4）-（1）　クラウンブリッジによる治療 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 ⑨研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。 ⑩平均値咬合器及び調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。	＊小見山　道 ＊小林　平 ＊若見　昌信 ＊鈴木　浩司 ＊飯田　崇 ＊淺野　隆 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘 ＊岩﨑　正敏 ＊三浦　千晶 ＊生田　真衣 ＊石井　優貴 ＊吉田　一央 ＊柳園　佑奈 ＊山田　優太 ＊芦田　悠作 金谷　日出夫 髙橋　徹也 ＊安田　明弘
2025/10/24（金） 2時限 10:40～12:10	【平常試験③（クラウンブリッジ）】・解説講義	【授業の一般目標】 平常試験までの授業内容を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 8回の講義内容から多肢選択式問題で50問を出題する。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 多肢選択式問題 【学修方略（ＬＳ）】 その他 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【コアカリキュラム】 E　臨床歯学 E-3　歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4）　歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4）-（1）　クラウンブリッジによる治療 ①クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法（CAD/CAM を含む）を説明できる。 ③支台築造の意義、種類及び特徴を説明できる。 ④支台歯形成の意義と方法を説明できる。 ⑤クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑦プロビジョナルレストレーションの意義とその製作法を説明できる。 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 ⑨研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。 ⑩平均値咬合器及び調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。	＊小見山　道 ＊若見　昌信 ＊飯田　崇 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘
2025/10/24（金） 3時限 13:10～14:40	作業模型の咬合器付着 歯型の調整	【授業の一般目標】 正確な作業模型を製作することができる。 作業模型製作に必要な器具，材料を適切に使用できる。 作業模型を正確に咬合器に付着できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】	＊小見山　道 ＊小林　平 ＊若見　昌信 ＊鈴木　浩司 ＊飯田　崇 ＊淺野　隆

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/24（金） 3時限 13:10～14:40	作業模型の咬合器付着 歯型の調整	1. 正確な作業模型製作のための理論と注意点を説明できる。 2. 作業模型製作に必要な器具，材料を説明できる。 3. 作業模型を正確に咬合器に付着するための方法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 正確な作業模型製作のための要件について学ぶ。 作業模型製作に必要な器具，材料について学ぶ。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実習 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 ウ　技工操作 ａ　ロストワックス法による製作 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（１）　クラウンブリッジによる治療 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 ⑨研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。 ⑩平均値咬合器及び調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。	＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘 ＊岩﨑　正敏 ＊三浦　千晶 ＊生田　真衣 ＊石井　優貴 ＊吉田　一央 ＊柳園　佑奈 ＊山田　優太 ＊芦田　悠作 髙橋　徹也 ＊安田　明弘
2025/10/24（金） 4時限 14:50～16:20	作業模型の咬合器付着 歯型の調整	【授業の一般目標】 正確な作業模型を製作することができる。 作業模型製作に必要な器具，材料を適切に使用できる。 作業模型を正確に咬合器に付着できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 正確な作業模型製作のための理論と注意点を説明できる。 2. 作業模型製作に必要な器具，材料を説明できる。 3. 作業模型を正確に咬合器に付着するための方法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 正確な作業模型製作のための要件について学ぶ。 作業模型製作に必要な器具，材料について学ぶ。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実習 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 ウ　技工操作 ａ　ロストワックス法による製作 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（１）　クラウンブリッジによる治療 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 ⑨研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。 ⑩平均値咬合器及び調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。	＊小見山　道 ＊小林　平 ＊若見　昌信 ＊鈴木　浩司 ＊飯田　崇 ＊淺野　隆 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘 ＊岩﨑　正敏 ＊三浦　千晶 ＊生田　真衣 ＊石井　優貴 ＊吉田　一央 ＊柳園　佑奈 ＊山田　優太 ＊芦田　悠作 髙橋　徹也 ＊安田　明弘
2025/10/31（金） 2時限 10:40～12:10	咬合と下顎位	【授業の一般目標】 適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために必要な補綴学に関する知識・技能および態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床実務経験に基づき以下の項目を教授する。 2. 下顎位の名称を挙げ説明できる. 3. 下顎運動および咬合に関わる基本的用語を挙げ説明できる. 4. 下顎運動の基準となる基準点・基準面を列挙し説明できる. 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間：90分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア，配付プリント，教科書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室	＊小見山　道 ＊若見　昌信 ＊飯田　崇 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/31（金） 2時限 10:40～12:10	咬合と下顎位	【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ６　口腔・顎顔面の機能 イ　運動 ａ　下顎位、咬合接触・咬合様式、下顎運動 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ－２－１）　頭頸部の基本構造と機能 ⑦下顎の随意運動と反射を説明できる。	＊小見山　道 ＊若見　昌信 ＊飯田　崇 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘
2025/10/31（金） 3時限 13:10～14:40	ワックスアップ	【授業の一般目標】 ワックスアップに必要な器具および材料について理解する。 ワックスアップ法の種類と特徴について理解する。 生体に調和したワックスアップ法について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.ワックスアップに必要な器具および材料について述べることができる。 2.ワックスアップ法の種類と特徴について説明できる。 3.生体に調和したワックスアップ法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ワックスアップに必要な器具および材料について学ぶ。 ワックスアップ法の種類と特徴を学ぶ。 生体に調和したワックスアップ法を学ぶ。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 ウ　技工操作 ａ　ロストワックス法による製作 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（１）　クラウンブリッジによる治療 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法（CAD/CAM を含む）を説明できる。	＊小見山　道 ＊小林　平 ＊若見　昌信 ＊鈴木　浩司 ＊飯田　崇 ＊淺野　隆 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘 ＊岩﨑　正敏 ＊三浦　千晶 ＊生田　真衣 ＊石井　優貴 ＊吉田　一央 ＊柳園　佑奈 ＊山田　優太 ＊芦田　悠作 髙橋　徹也 谷村　秀樹 ＊増田　学 ＊安田　明弘
2025/10/31（金） 4時限 14:50～16:20	ワックスアップ	【授業の一般目標】 ワックスアップに必要な器具および材料について理解する。 ワックスアップ法の種類と特徴について理解する。 生体に調和したワックスアップ法について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.ワックスアップに必要な器具および材料について述べることができる。 2.ワックスアップ法の種類と特徴について説明できる。 3.生体に調和したワックスアップ法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ワックスアップに必要な器具および材料について学ぶ。 ワックスアップ法の種類と特徴を学ぶ。 生体に調和したワックスアップ法を学ぶ。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 ウ　技工操作 ａ　ロストワックス法による製作 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（１）　クラウンブリッジによる治療 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法（CAD/CAM を含む）を説明できる。	＊小見山　道 ＊小林　平 ＊若見　昌信 ＊鈴木　浩司 ＊飯田　崇 ＊淺野　隆 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘 ＊岩﨑　正敏 ＊三浦　千晶 ＊生田　真衣 ＊石井　優貴 ＊吉田　一央 ＊柳園　佑奈 ＊山田　優太 ＊芦田　悠作 髙橋　徹也 谷村　秀樹 ＊増田　学 ＊安田　明弘
2025/11/07（金） 2時限 10:40～12:10	咬合と下顎運動の決定要素	【授業の一般目標】 適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために必要な補綴学に関する知識・技能および態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】	＊小見山　道 ＊若見　昌信 ＊飯田　崇 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/11/07（金） 2時限 10:40～12:10	咬合と下顎運動の決定要素	1.臨床実務経験に基づき以下の項目を教授する。 2.「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 3.下顎運動および咬合に関わる基本的用語を挙げ説明できる. 4.下顎運動の基準となる基準点・基準面を列挙し説明できる. 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間：90分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア，配付プリント，教科書 有・下顎運動に関連する演習を行う。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ６　口腔・顎顔面の機能 イ　運動 ａ　下顎位、咬合接触・咬合様式、下顎運動 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ－２－１）　頭頸部の基本構造と機能 ⑧咀嚼の意義と制御機構を説明できる。	＊小見山　道 ＊若見　昌信 ＊飯田　崇 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘
2025/11/07（金） 3時限 13:10～14:40	ワックスアップ	【授業の一般目標】 ワックスアップに必要な器具および材料について理解する。 ワックスアップ法の種類と特徴について理解する。 生体に調和したワックスアップ法について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.ワックスアップに必要な器具および材料について述べることができる。 2.ワックスアップ法の種類と特徴について説明できる。 3.生体に調和したワックスアップ法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ワックスアップに必要な器具および材料について学ぶ。 ワックスアップ法の種類と特徴を学ぶ。 生体に調和したワックスアップ法を学ぶ。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 ウ　技工操作 ａ　ロストワックス法による製作 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（１）　クラウンブリッジによる治療 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法（CAD/CAM を含む）を説明できる。 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。	＊小見山　道 ＊小林　平 ＊若見　昌信 ＊鈴木　浩司 ＊飯田　崇 ＊淺野　隆 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘 ＊岩﨑　正敏 ＊三浦　千晶 ＊生田　真衣 ＊石井　優貴 ＊吉田　一央 ＊柳園　佑奈 ＊山田　優太 ＊芦田　悠作 桂　裕名 金谷　日出夫 小日向　宏 髙橋　徹也 柘植　琢磨 ＊安田　明弘
2025/11/07（金） 4時限 14:50～16:20	ワックスアップ	【授業の一般目標】 ワックスアップに必要な器具および材料について理解する。 ワックスアップ法の種類と特徴について理解する。 生体に調和したワックスアップ法について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.ワックスアップに必要な器具および材料について述べることができる。 2.ワックスアップ法の種類と特徴について説明できる。 3.生体に調和したワックスアップ法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ワックスアップに必要な器具および材料について学ぶ。 ワックスアップ法の種類と特徴を学ぶ。 生体に調和したワックスアップ法を学ぶ。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室	＊小見山　道 ＊小林　平 ＊若見　昌信 ＊鈴木　浩司 ＊飯田　崇 ＊淺野　隆 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘 ＊岩﨑　正敏 ＊三浦　千晶 ＊生田　真衣 ＊石井　優貴 ＊吉田　一央 ＊柳園　佑奈 ＊山田　優太 ＊芦田　悠作 桂　裕名 金谷　日出夫 小日向　宏 髙橋　徹也 柘植　琢磨 ＊安田　明弘

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/11/07（金） 4時限 14:50～16:20	ワックスアップ	【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 ウ　技工操作 ａ　ロストワックス法による製作 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（１）　クラウンブリッジによる治療 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法（CAD/CAM を含む）を説明できる。 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。	＊小見山　道 ＊小林　平 ＊若見　昌信 ＊鈴木　浩司 ＊飯田　崇 ＊淺野　隆 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘 ＊岩﨑　正敏 ＊三浦　千晶 ＊生田　真衣 ＊石井　優貴 ＊吉田　一央 ＊柳園　佑奈 ＊山田　優太 ＊芦田　悠作 桂　裕名 金谷　日出夫 小日向　宏 髙橋　徹也 柘植　琢磨 ＊安田　明弘
2025/11/14（金） 2時限 10:40～12:10	咬合器	【授業の一般目標】 フェイスボウトランスファーとチェックバイトについて理解する。 パントグラフによる下顎運動の記録法について理解する。 咬合器の分類，特徴について理解する。 半調節性咬合器の調節方法について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.フェイスボウトランスファーとチェックバイトを説明できる。 3.パントグラフによる下顎運動の記録法を説明できる。 4.咬合器の分類，特徴を説明できる。 5.半調節性咬合器の調節方法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間：90分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア，配付プリント，教科書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 ウ　技工操作 ａ　ロストワックス法による製作 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（１）　クラウンブリッジによる治療 ⑩平均値咬合器及び調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。	＊小見山　道 ＊若見　昌信 ＊飯田　崇 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘
2025/11/14（金） 3時限 13:10～14:40	ワックスアップ 埋没・鋳造・研磨・試適	【授業の一般目標】 埋没操作を適切に行うことができる。 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鋳造操作を適切に行うことができる。 鋳造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鋳造後の研磨操作が適切にできる。 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 クラウンの口腔内試適が適切にできる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.埋没操作を適切に行うことができる。 2.埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 3.鋳造操作を適切に行うことができる。 4.鋳造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 5.鋳造後の研磨操作が適切にできる。 6.研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 7.クラウンの口腔内試適，仮着，装着が適切にできる。 8.仮着，装着に必要な器具および材料を適切に使用できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 埋没，鋳造，研磨，口腔内試適，仮着，装着の操作や手順について学ぶ。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】	＊小見山　道 ＊小林　平 ＊若見　昌信 ＊鈴木　浩司 ＊飯田　崇 ＊淺野　隆 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘 ＊岩﨑　正敏 ＊三浦　千晶 ＊生田　真衣 ＊石井　優貴 ＊吉田　一央 ＊柳園　佑奈 ＊山田　優太 ＊芦田　悠作 髙橋　徹也 ＊安田　明弘

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/11/14（金） 3時限 13:10～14:40	ワックスアップ 埋没・鋳造・研磨・試適	歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 ウ　技工操作 ａ　ロストワックス法による製作 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（１）　クラウンブリッジによる治療 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法（CAD/CAM を含む）を説明できる。 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。	＊小見山　道 ＊小林　平 ＊若見　昌信 ＊鈴木　浩司 ＊飯田　崇 ＊淺野　隆 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘 ＊岩﨑　正敏 ＊三浦　千晶 ＊生田　真衣 ＊石井　優貴 ＊吉田　一央 ＊柳園　佑奈 ＊山田　優太 ＊芦田　悠作 髙橋　徹也 ＊安田　明弘
2025/11/14（金） 4時限 14:50～16:20	ワックスアップ 埋没・鋳造・研磨・試適	【授業の一般目標】 埋没操作を適切に行うことができる。 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鋳造操作を適切に行うことができる。 鋳造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鋳造後の研磨操作が適切にできる。 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 クラウンの口腔内試適が適切にできる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.埋没操作を適切に行うことができる。 2.埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 3.鋳造操作を適切に行うことができる。 4.鋳造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 5.鋳造後の研磨操作が適切にできる。 6.研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 7.クラウンの口腔内試適，仮着，装着が適切にできる。 8.仮着，装着に必要な器具および材料を適切に使用できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 埋没，鋳造，研磨，口腔内試適，仮着，装着の操作や手順について学ぶ。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 ウ　技工操作 ａ　ロストワックス法による製作 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（１）　クラウンブリッジによる治療 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法（CAD/CAM を含む）を説明できる。 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。	＊小見山　道 ＊小林　平 ＊若見　昌信 ＊鈴木　浩司 ＊飯田　崇 ＊淺野　隆 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘 ＊岩﨑　正敏 ＊三浦　千晶 ＊生田　真衣 ＊石井　優貴 ＊吉田　一央 ＊柳園　佑奈 ＊山田　優太 ＊芦田　悠作 髙橋　徹也 ＊安田　明弘
2025/11/21（金） 2時限 10:40～12:10	埋没・鋳造・熱処理・研磨	【授業の一般目標】 埋没材の種類と性質を理解する。 埋没法を理解する。 鋳造用金属の所要性質と種類を理解する。 鋳造法の種類と方法を理解する。 鋳造後の処理と研磨方法を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.埋没材の種類と性質を説明できる。 3.埋没法を説明できる。 4.鋳造用金属の所要性質と種類を説明できる。 5.鋳造法の種類と方法を説明できる。 6.鋳造後の処理と研磨方法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間：90分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア，配付プリント，教科書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論	＊小見山　道 ＊若見　昌信 ＊飯田　崇 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/11/21（金） 2時限 10:40～12:10	埋没・鋳造・熱処理・研磨	各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 ウ　技工操作 ａ　ロストワックス法による製作 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（１）　クラウンブリッジによる治療 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。	＊小見山　道 ＊若見　昌信 ＊飯田　崇 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘
2025/11/21（金） 3時限 13:10～14:40	埋没・鋳造・研磨・仮着・合着	【授業の一般目標】 埋没操作を適切に行うことができる。 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鋳造操作を適切に行うことができる。 鋳造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鋳造後の研磨操作が適切にできる。 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 クラウンの口腔内試適，仮着，装着が適切にできる。 仮着，装着に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.埋没操作を適切に行うことができる。 2.埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 3.鋳造操作を適切に行うことができる。 4.鋳造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 5.鋳造後の研磨操作が適切にできる。 6.研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 7.クラウンの口腔内試適，仮着，装着が適切にできる。 8.仮着，装着に必要な器具および材料を適切に使用できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 埋没，鋳造，研磨，口腔内試適，仮着，装着の操作や手順について学ぶ。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 ウ　技工操作 ａ　ロストワックス法による製作 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（１）　クラウンブリッジによる治療 ⑪クラウンブリッジの装着方法を説明できる。 ⑫クラウンブリッジの維持管理の目的と方法を説明できる。 ⑬クラウンブリッジ装着後のメインテナンスの重要性を説明できる。	＊小見山　道 ＊小林　平 ＊若見　昌信 ＊鈴木　浩司 ＊飯田　崇 ＊淺野　隆 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘 ＊岩﨑　正敏 ＊三浦　千晶 ＊生田　真衣 ＊石井　優貴 ＊吉田　一央 ＊柳園　佑奈 ＊山田　優太 ＊芦田　悠作 金谷　日出夫 髙橋　徹也 谷村　秀樹 ＊安田　明弘
2025/11/21（金） 4時限 14:50～16:20	埋没・鋳造・研磨・仮着・合着	【授業の一般目標】 埋没操作を適切に行うことができる。 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鋳造操作を適切に行うことができる。 鋳造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鋳造後の研磨操作が適切にできる。 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 クラウンの口腔内試適，仮着，装着が適切にできる。 仮着，装着に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.埋没操作を適切に行うことができる。 2.埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 3.鋳造操作を適切に行うことができる。 4.鋳造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 5.鋳造後の研磨操作が適切にできる。 6.研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 7.クラウンの口腔内試適，仮着，装着が適切にできる。 8.仮着，装着に必要な器具および材料を適切に使用できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 埋没，鋳造，研磨，口腔内試適，仮着，装着の操作や手順について学ぶ。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療	＊小見山　道 ＊小林　平 ＊若見　昌信 ＊鈴木　浩司 ＊飯田　崇 ＊淺野　隆 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘 ＊岩﨑　正敏 ＊三浦　千晶 ＊生田　真衣 ＊石井　優貴 ＊吉田　一央 ＊柳園　佑奈 ＊山田　優太 ＊芦田　悠作 金谷　日出夫 髙橋　徹也 谷村　秀樹 ＊安田　明弘

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/11/21（金） 4時限 14:50～16:20	埋没・鋳造・研磨・仮着・合着	ウ　技工操作 ａ　ロストワックス法による製作 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ−３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ−３−４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ−３−４）−（１）　クラウンブリッジによる治療 ⑪クラウンブリッジの装着方法を説明できる。 ⑫クラウンブリッジの維持管理の目的と方法を説明できる。 ⑬クラウンブリッジ装着後のメインテナンスの重要性を説明できる。	＊小見山　道 ＊小林　平 ＊若見　昌信 ＊鈴木　浩司 ＊飯田　崇 ＊淺野　隆 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘 ＊岩﨑　正敏 ＊三浦　千晶 ＊生田　真衣 ＊石井　優貴 ＊吉田　一央 ＊柳園　佑奈 ＊山田　優太 ＊芦田　悠作 金谷　日出夫 髙橋　徹也 谷村　秀樹 ＊安田　明弘
2025/11/28（金） 2時限 10:40～12:10	口腔内試適と装着 術後管理 装着後に発生する問題とその対応	【授業の一般目標】 クラウン試適時の調整手順・調整方法について理解する。 クラウン咬合面の調整方法について理解する。 各種歯科用セメントの特徴について理解する。 術後管理の重要性について理解する。 補綴装置装着後に発生する問題の原因，解決法について理解する。 補綴装置装着後に発生する問題の予防方法について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. クラウン試適時の調整手順・調整方法を説明できる。 3. クラウン咬合面の調整方法を説明できる。 4. 各種歯科用セメントの特徴を説明できる。 5. 術後管理の重要性を説明できる。 6. 補綴装置装着後に発生する問題の原因，解決法を説明できる。 7. 補綴装置装着後に発生する問題の予防方法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間：90分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア，配付プリント，教科書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 イ　臨床操作 ｊ　装着 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ−３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ−３−４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ−３−４）−（１）　クラウンブリッジによる治療 ⑪クラウンブリッジの装着方法を説明できる。 ⑫クラウンブリッジの維持管理の目的と方法を説明できる。 ⑬クラウンブリッジ装着後のメインテナンスの重要性を説明できる。 ⑪クラウンブリッジの装着方法を説明できる。 ⑫クラウンブリッジの維持管理の目的と方法を説明できる。 ⑬クラウンブリッジ装着後のメインテナンスの重要性を説明できる。	＊小見山　道 ＊若見　昌信 ＊飯田　崇 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘
2025/11/28（金） 3時限 13:10～14:40	埋没・鋳造・研磨・仮着・合着	【授業の一般目標】 埋没操作を適切に行うことができる。 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鋳造操作を適切に行うことができる。 鋳造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鋳造後の研磨操作が適切にできる。 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 クラウンの口腔内試適，仮着，装着が適切にできる。 仮着，装着に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 埋没操作を適切に行うことができる。 2. 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 3. 鋳造操作を適切に行うことができる。 4. 鋳造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 5. 鋳造後の研磨操作が適切にできる。 6. 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 7. クラウンの口腔内試適，仮着，装着が適切にできる。 8. 仮着，装着に必要な器具および材料を適切に使用できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 埋没，鋳造，研磨，口腔内試適，仮着，装着の操作や手順について学ぶ。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室	＊小見山　道 ＊小林　平 ＊若見　昌信 ＊鈴木　浩司 ＊飯田　崇 ＊淺野　隆 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘 ＊岩﨑　正敏 ＊三浦　千晶 ＊生田　真衣 ＊石井　優貴 ＊吉田　一央 ＊柳園　佑奈 ＊山田　優太 ＊芦田　悠作 髙橋　徹也 ＊安田　明弘

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/11/28（金） 3時限 13:10～14:40	埋没・鋳造・研磨・仮着・合着	【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 ウ　技工操作 ａ　ロストワックス法による製作 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（１）　クラウンブリッジによる治療 ⑪クラウンブリッジの装着方法を説明できる。 ⑫クラウンブリッジの維持管理の目的と方法を説明できる。 ⑬クラウンブリッジ装着後のメインテナンスの重要性を説明できる。	＊小見山　道 ＊小林　平 ＊若見　昌信 ＊鈴木　浩司 ＊飯田　崇 ＊淺野　隆 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘 ＊岩﨑　正敏 ＊三浦　千晶 ＊生田　真衣 ＊石井　優貴 ＊吉田　一央 ＊柳園　佑奈 ＊山田　優太 ＊芦田　悠作 髙橋　徹也 ＊安田　明弘
2025/11/28（金） 4時限 14:50～16:20	埋没・鋳造・研磨・仮着・合着	【授業の一般目標】 埋没操作を適切に行うことができる。 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鋳造操作を適切に行うことができる。 鋳造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鋳造後の研磨操作が適切にできる。 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 クラウンの口腔内試適，仮着，装着が適切にできる。 仮着，装着に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.埋没操作を適切に行うことができる。 2.埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 3.鋳造操作を適切に行うことができる。 4.鋳造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 5.鋳造後の研磨操作が適切にできる。 6.研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 7.クラウンの口腔内試適，仮着，装着が適切にできる。 8.仮着，装着に必要な器具および材料を適切に使用できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 埋没，鋳造，研磨，口腔内試適，仮着，装着の操作や手順について学ぶ。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 ウ　技工操作 ａ　ロストワックス法による製作 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（１）　クラウンブリッジによる治療 ⑪クラウンブリッジの装着方法を説明できる。 ⑫クラウンブリッジの維持管理の目的と方法を説明できる。 ⑬クラウンブリッジ装着後のメインテナンスの重要性を説明できる。	＊小見山　道 ＊小林　平 ＊若見　昌信 ＊鈴木　浩司 ＊飯田　崇 ＊淺野　隆 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘 ＊岩﨑　正敏 ＊三浦　千晶 ＊生田　真衣 ＊石井　優貴 ＊吉田　一央 ＊柳園　佑奈 ＊山田　優太 ＊芦田　悠作 髙橋　徹也 ＊安田　明弘
2025/12/05（金） 2時限 10:40～12:10	レジン前装冠 ハイブリッド型コンポジットレジンクラウン CAD/CAMによるクラウンブリッジの製作	【授業の一般目標】 レジン前装冠の利点，欠点，適応症を理解する。 前装材と金属の維持，結合方法について理解する。 前装部の製作について手順を理解する。 硬質レジンとハイブリッド型コンポジットレジンの違いを理解する。 ハイブリッド型コンポジットレジンクラウンの利点，欠点，製作法を理解する。 CAD/CAMによる補綴装置の臨床的意義を理解する。 CAD/CAMによるクラウンブリッジ製作の特徴と流れを理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.レジン前装冠の利点，欠点，適応症を説明できる。 3.前装材と金属の維持，結合方法を説明できる。 4.前装部の製作について手順を説明できる。 5.硬質レジンとハイブリッド型コンポジットレジンの違いを説明できる。 6.ハイブリッド型コンポジットレジンクラウンの利点，欠点，製作法を理解する。 7.CAD/CAMによる補綴装置の臨床的意義を説明できる。 8.CAD/CAMによるクラウンブリッジ製作の特徴と流れを説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間：90分	＊小見山　道 ＊若見　昌信 ＊飯田　崇 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/12/05（金） 2時限 10:40～12:10	レジン前装冠 ハイブリッド型コンポジットレジンクラウン CAD/CAMによるクラウンブリッジの製作	【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア，配付プリント，教科書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 ア　クラウンブリッジの設計 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（１）　クラウンブリッジによる治療 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法（CAD/CAM を含む）を説明できる。 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。	＊小見山　道 ＊若見　昌信 ＊飯田　崇 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘
2025/12/05（金） 3時限 13:10～14:40	埋没・鋳造・研磨・仮着・合着	【授業の一般目標】 埋没操作を適切に行うことができる。 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鋳造操作を適切に行うことができる。 鋳造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鋳造後の研磨操作が適切にできる。 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 クラウンの口腔内試適，仮着，装着が適切にできる。 仮着，装着に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.埋没操作を適切に行うことができる。 2.埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 3.鋳造操作を適切に行うことができる。 4.鋳造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 5.鋳造後の研磨操作が適切にできる。 6.研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 7.クラウンの口腔内試適，仮着，装着が適切にできる。 8.仮着，装着に必要な器具および材料を適切に使用できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 埋没，鋳造，研磨，口腔内試適，仮着，装着の操作や手順について学ぶ。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 ウ　技工操作 ａ　ロストワックス法による製作 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（１）　クラウンブリッジによる治療 ⑪クラウンブリッジの装着方法を説明できる。 ⑫クラウンブリッジの維持管理の目的と方法を説明できる。 ⑬クラウンブリッジ装着後のメインテナンスの重要性を説明できる。	＊小見山　道 ＊小林　平 ＊若見　昌信 ＊鈴木　浩司 ＊飯田　崇 ＊淺野　隆 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘 ＊岩﨑　正敏 ＊三浦　千晶 ＊生田　真衣 ＊石井　優貴 ＊吉田　一央 ＊柳園　佑奈 ＊山田　優太 ＊芦田　悠作 金谷　日出夫 小日向　宏 薦田　祥博 髙橋　徹也 二瓶　仁 ＊安田　明弘
2025/12/05（金） 4時限 14:50～16:20	埋没・鋳造・研磨・仮着・合着	【授業の一般目標】 埋没操作を適切に行うことができる。 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鋳造操作を適切に行うことができる。 鋳造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鋳造後の研磨操作が適切にできる。 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 クラウンの口腔内試適，仮着，装着が適切にできる。 仮着，装着に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.埋没操作を適切に行うことができる。 2.埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 3.鋳造操作を適切に行うことができる。 4.鋳造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 5.鋳造後の研磨操作が適切にできる。 6.研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 7.クラウンの口腔内試適，仮着，装着が適切にできる。 8.仮着，装着に必要な器具および材料を適切に使用できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 埋没，鋳造，研磨，口腔内試適，仮着，装着の操作や手順について学ぶ。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】	＊小見山　道 ＊小林　平 ＊若見　昌信 ＊鈴木　浩司 ＊飯田　崇 ＊淺野　隆 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘 ＊岩﨑　正敏 ＊三浦　千晶 ＊生田　真衣 ＊石井　優貴 ＊吉田　一央 ＊柳園　佑奈 ＊山田　優太 ＊芦田　悠作 金谷　日出夫 小日向　宏 薦田　祥博 髙橋　徹也 二瓶　仁 ＊安田　明弘

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/12/05（金） 4時限 14:50～16:20	埋没・鋳造・研磨・仮着・合着	第5実習室 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 ウ　技工操作 ａ　ロストワックス法による製作 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（１）　クラウンブリッジによる治療 ⑪クラウンブリッジの装着方法を説明できる。 ⑫クラウンブリッジの維持管理の目的と方法を説明できる。 ⑬クラウンブリッジ装着後のメインテナンスの重要性を説明できる。	＊小見山　道 ＊小林　平 ＊若見　昌信 ＊鈴木　浩司 ＊飯田　崇 ＊淺野　隆 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘 ＊岩﨑　正敏 ＊三浦　千晶 ＊生田　真衣 ＊石井　優貴 ＊吉田　一央 ＊柳園　佑奈 ＊山田　優太 ＊芦田　悠作 金谷　日出夫 小日向　宏 薦田　祥博 髙橋　徹也 二瓶　仁 ＊安田　明弘
2025/12/12（金） 2時限 10:40～12:10	陶材焼付冠 オールセラミック修復	【授業の一般目標】 陶材焼付冠の適応症，製作法について理解する。 陶材と金属の機械的性質を理解する。 陶材と金属の結合について理解する。 メタルコーピングの形態を理解する。 オールセラミック修復の臨床的意義、適応症、禁忌症を理解する。 オールセラミック修復の種類を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.陶材焼付冠の適応症，製作法を説明できる。 3.陶材と金属の機械的性質を説明できる。 4.陶材と金属の結合を説明できる。 5.メタルコーピングの形態を説明できる。 6.オールセラミック修復の臨床的意義、適応症、禁忌症を説明できる。 7.オールセラミック修復の種類を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間：90分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア，配付プリント，教科書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 ア　クラウンブリッジの設計 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（１）　クラウンブリッジによる治療 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法（CAD/CAM を含む）を説明できる。 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。	＊小見山　道 ＊若見　昌信 ＊飯田　崇 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘
2025/12/12（金） 3時限 13:10～14:40	陶材焼付冠の製作 レジン前装冠の製作	【授業の一般目標】 陶材の築盛操作に必要な器具，材料を適切に使用することができる。 陶材の築盛操作を適切に行うことができる。 前装用レジンの築盛操作に必要な器具，材料を適切に使用することができる。 前装用レジンの築盛操作を適切に行うことができる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.陶材の築盛操作に必要な器具，材料を適切に使用することができる。 2.陶材の築盛操作を適切に行うことができる。 3.前装用レジンの築盛操作に必要な器具，材料を適切に使用することができる。 4.前装用レジンの築盛操作を適切に行うことができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 審美性を備えたクラウンについて学ぶ。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論	＊小見山　道 ＊小林　平 ＊若見　昌信 ＊鈴木　浩司 ＊飯田　崇 ＊淺野　隆 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘 ＊岩﨑　正敏 ＊三浦　千晶 ＊生田　真衣 ＊石井　優貴 ＊吉田　一央 ＊柳園　佑奈 ＊山田　優太 ＊芦田　悠作 髙橋　徹也 谷村　秀樹 ＊安田　明弘

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/12/12（金） 3時限 13:10～14:40	陶材焼付冠の製作 レジン前装冠の製作	各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 ウ　技工操作 ａ　ロストワックス法による製作 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（１）　クラウンブリッジによる治療 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法（CAD/CAM を含む）を説明できる。 ⑥色調選択（シェードテイキング）を説明できる。 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。	＊小見山　道 ＊小林　平 ＊若見　昌信 ＊鈴木　浩司 ＊飯田　崇 ＊淺野　隆 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘 ＊岩﨑　正敏 ＊三浦　千晶 ＊生田　真衣 ＊石井　優貴 ＊吉田　一央 ＊柳園　佑奈 ＊山田　優太 ＊芦田　悠作 髙橋　徹也 谷村　秀樹 ＊安田　明弘
2025/12/12（金） 4時限 14:50～16:20	陶材焼付冠の製作 レジン前装冠の製作	【授業の一般目標】 陶材の築盛操作に必要な器具，材料を適切に使用することができる。 陶材の築盛操作を適切に行うことができる。 前装用レジンの築盛操作に必要な器具，材料を適切に使用することができる。 前装用レジンの築盛操作を適切に行うことができる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.陶材の築盛操作に必要な器具，材料を適切に使用することができる。 2.陶材の築盛操作を適切に行うことができる。 3.前装用レジンの築盛操作に必要な器具，材料を適切に使用することができる。 4.前装用レジンの築盛操作を適切に行うことができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 審美性を備えたクラウンについて学ぶ。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 ウ　技工操作 ａ　ロストワックス法による製作 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ-３-４）-（１）　クラウンブリッジによる治療 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法（CAD/CAM を含む）を説明できる。 ⑥色調選択（シェードテイキング）を説明できる。 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。	＊小見山　道 ＊小林　平 ＊若見　昌信 ＊鈴木　浩司 ＊飯田　崇 ＊淺野　隆 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘 ＊岩﨑　正敏 ＊三浦　千晶 ＊生田　真衣 ＊石井　優貴 ＊吉田　一央 ＊柳園　佑奈 ＊山田　優太 ＊芦田　悠作 髙橋　徹也 谷村　秀樹 ＊安田　明弘
2025/12/19（金） 2時限 10:40～12:10	支台築造	【授業の一般目標】 支台築造の臨床的意義，選択基準を理解する。 築造窩洞形成の原則と手順を理解する。 支台築造の種類と方法を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.支台築造の臨床的意義，選択基準を説明できる。 3.築造窩洞形成の原則と手順を説明できる。 4.支台築造の種類と方法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間：90分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア，配付プリント，教科書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 イ　臨床操作 ｃ　支台築造 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ-３-４）　歯質と歯の欠損の診断と治療	＊小見山　道 ＊若見　昌信 ＊飯田　崇 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/12/19（金） 2時限 10:40～12:10	支台築造	E-3-4）-（1）　クラウンブリッジによる治療 ③支台築造の意義、種類及び特徴を説明できる。	＊小見山　道 ＊若見　昌信 ＊飯田　崇 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘
2025/12/19（金） 3時限 13:10～14:40	レジン築造 支台歯形成	【授業の一般目標】 築造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 適切な築造操作ができる。 残存歯質の状態によって築造法を選択できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.築造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 2.適切な築造操作ができる。 3.残存歯質の状態によって築造法を選択できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 築造について学ぶ。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 イ　臨床操作 ｃ　支台築造 【コアカリキュラム】 E　臨床歯学 E-3　歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4）　歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4）-（1）　クラウンブリッジによる治療 ③支台築造の意義、種類及び特徴を説明できる。	＊小見山　道 ＊小林　平 ＊若見　昌信 ＊鈴木　浩司 ＊飯田　崇 ＊淺野　隆 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘 ＊岩﨑　正敏 ＊三浦　千晶 ＊生田　真衣 ＊石井　優貴 ＊吉田　一央 ＊柳園　佑奈 ＊山田　優太 ＊芦田　悠作 金谷　日出夫 髙橋　徹也 柘植　琢磨 ＊安田　明弘
2025/12/19（金） 4時限 14:50～16:20	レジン築造 支台歯形成	【授業の一般目標】 築造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 適切な築造操作ができる。 残存歯質の状態によって築造法を選択できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.築造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 2.適切な築造操作ができる。 3.残存歯質の状態によって築造法を選択できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 築造について学ぶ。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第5実習室 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 イ　臨床操作 ｃ　支台築造 【コアカリキュラム】 E　臨床歯学 E-3　歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4）　歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4）-（1）　クラウンブリッジによる治療 ③支台築造の意義、種類及び特徴を説明できる。	＊小見山　道 ＊小林　平 ＊若見　昌信 ＊鈴木　浩司 ＊飯田　崇 ＊淺野　隆 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘 ＊岩﨑　正敏 ＊三浦　千晶 ＊生田　真衣 ＊石井　優貴 ＊吉田　一央 ＊柳園　佑奈 ＊山田　優太 ＊芦田　悠作 金谷　日出夫 髙橋　徹也 柘植　琢磨 ＊安田　明弘
2026/01/16（金） 2時限 10:40～12:10	【平常試験④（クラウンブリッジ）】・解説講義	【授業の一般目標】 第１回平常試験から以降の講義内容について理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 第１回平常試験以降の8回の講義内容から多肢選択式問題で50問を出題する。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 多肢選択式問題 【学修方略（ＬＳ）】 その他 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害	＊小見山　道 ＊若見　昌信 ＊飯田　崇 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/01/16（金） 2時限 10:40～12:10	【平常試験④（クラウンブリッジ）】・解説講義	３　クラウンブリッジによる治療 イ　臨床操作 ｃ　支台築造 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（１）　クラウンブリッジによる治療 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法（CAD/CAM を含む）を説明できる。 ③支台築造の意義、種類及び特徴を説明できる。 ④支台歯形成の意義と方法を説明できる。 ⑥色調選択（シェードテイキング）を説明できる。	＊小見山　道 ＊若見　昌信 ＊飯田　崇 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘
2026/01/16（金） 3時限 13:10～14:40	実習の総括	【授業の一般目標】 本実習での製作物の完成を実施する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.クラウン実習での製作物を完成させる。 【準備学修項目と準備学修時間】 特になし 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実習機材 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 ウ　技工操作 ａ　ロストワックス法による製作 【コアカリキュラム】 Ｆ　シミュレーション実習（模型実習・相互演習（実習）） Ｆ－３　基本的臨床技能 Ｆ－３－４）　歯質と歯の欠損の治療 ③クラウンブリッジによる補綴治療の書く基本的操作を実施できる。	＊小見山　道 ＊小林　平 ＊若見　昌信 ＊鈴木　浩司 ＊飯田　崇 ＊淺野　隆 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘 ＊岩﨑　正敏 ＊三浦　千晶 ＊生田　真衣 ＊石井　優貴 ＊吉田　一央 ＊柳園　佑奈 ＊山田　優太 ＊芦田　悠作 髙橋　徹也 谷村　秀樹 ＊安田　明弘
2026/01/16（金） 4時限 14:50～16:20	製作物の完成	【授業の一般目標】 クラウン実習での製作物を完成させる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.クラウン実習の製作物を完成させる。 【準備学修項目と準備学修時間】 特になし 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実習機材 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 ウ　技工操作 ａ　ロストワックス法による製作 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－３　歯と歯周組織の常態と疾患 Ｅ－３－４）　歯質と歯の欠損の診断と治療 Ｅ－３－４）－（１）　クラウンブリッジによる治療 ②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法（CAD/CAM を含む）を説明できる。 ④支台歯形成の意義と方法を説明できる。 ③支台築造の意義、種類及び特徴を説明できる。 ⑤クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 ⑪クラウンブリッジの装着方法を説明できる。 ⑬クラウンブリッジ装着後のメインテナンスの重要性を説明できる。	＊小見山　道 ＊小林　平 ＊若見　昌信 ＊鈴木　浩司 ＊飯田　崇 ＊淺野　隆 ＊内堀　聡史 ＊岩田　好弘 ＊岩﨑　正敏 ＊三浦　千晶 ＊生田　真衣 ＊石井　優貴 ＊吉田　一央 ＊柳園　佑奈 ＊山田　優太 ＊芦田　悠作 髙橋　徹也 谷村　秀樹 ＊安田　明弘